

翻刻

井上円了手書きノート(1-1-3-1)「古代哲学」(下)

柴田隆行

shibata takayuki

註

・本ノートの116ページ目までは井上円了が An Epitome of the History of Philosophy の要点を翻訳しつつノートしたのだが、それ以降は Johann Eduard Erdmann, A History of Philosophy. English translation edited by Williston Hough. v.1. London 1890 及び Eduard Zeller, Outlines of the History of Greek Philosophy, tr. by Sarah Frances Alleyne and Evelyn Abbott. London 1886 などが参照されており、これらも英訳本であるため、(上)で使用した「英訳」という略号では意味不明となる。それゆえ、(下)ではそれぞれ Epit. Erdm. Zeller と略記するものに改める。

・Epitome のうち第二巻はデカルト以降の近代哲学史を扱っているが、その部分は円了ノート1-1-3-1「英国哲学書」で参照されている。

第二階「エリヤチック」[Elaic] 学 [Epir.112]

第一、形而上学派

此学派中ノ冠タルモノ三人アリ

Xenophanes, Parmenides, & Zeno

第一祖「セノフェネス」[Xenophanes] ハ紀元前六百年代ノ半ニ世ニアリト云フ幼時専ラ「ピサゴラス」ノ学ヲ研究セリ其著ス所 On Nature ト云フ一書アリ 【62】

第二祖「パーメニデス」ハ「セノフェネス」ノ門弟ナリ

第三祖「ゼノー」[Zeno] ハ「パーメニデス」ノ門弟ナリ

哲学組織○「ピサコリヤ」[Pythagoras] ノ説ニテハ純全唯一ノ体ヨリ万差ノ諸物ノ創発スルコトヲ論スルヲ以テ「セノフェネス」ハ如何シテ創出シウルカヲ疑ヒ若シ果シテ創出スルナラハ其生シタルモノハ既生ノ物ヨリ生スルカ未存ノモノヨリ生スルノ一ニアラサルベカラス若シ未存ヨリ生スルトナサバ無ヨリ有ヲ生スルト同理ニシテ不能ナルヤ必セリ既存ヨリ生スレハ既ニ有ナルモノ、又有トナルコトナレハ創出トハ云ヒカタシ故ニ氏ハ全ク創造ノ不能ナルヲ案シテ万物唯々不生滅、不限量、不変易ノ一理体ノミト決セリ

然レトモ尚ホ氏ハ有限物ハ無限理ノ変形外相ナルコトヲ評シテ其实在ヲ論セリト雖モ第二祖ハ其諸相^{フキム}ノ実ニアラサルコトヲ論シテ諸物唯一原理ノ外ナキコトヲ説ケリ殊ニ氏ハ心理学上其説ヲ【63】考案センコトヲツトメリ斯クシテ感覺上ヨリ生スル所ノ思想ハ真理ノ論礎トナスニ足ラス唯々其論礎トナルベキ理想ノ純理ヨリ生スルモノナリ斯クシテ諸物ノ理ハ一体ノ理想ニ帰スルコトヲ証セリ

次ニ第三祖「ゼノー」ハ有限境ノ經驗ヨリ生スル所ノ諸思想ハスベテ背反不当ナルコトヲ知り心内ノ純想ヨリ生

スル所ノ論理ノ規則ヲ考究シ之レニヨリテ理否ヲ判定セン為メ論理学ヲ造成セリ

結局○凡ソ論ハ正ナリ非ナリスベテ其前定セル論案ト論決セル結局ト間ニ論理上ノ誤謬ナキヲ要ス否レハ哲学ノ思想ヲ興張スル能ハス今「エリヤチック」ノ学派ニ於テハ固ヨリ其論拠謬見ナキニアラスト雖モ其論理頗ル精密ニ涉リ立論ヨリ論決ニ達スル間ノ順序論理上ノ過失少シトス〔Epic:114〕【64】

「イタリック」学派ノ多少万象ノ純一ヨリ創出スルノ思考アリタリト雖モ「エリヤチック」ハ創出ナルモノ前已ニ存スルモノニアラスンハ之ヲナス能ハス已ニ存スル以上ハ創造ハ唯々名ノミニ歸スル也故ニ今万物ノ創造ヨリ生スルト思フハ我人ノ迷見ニスギザルノミ凡テ物ノ生スルニハ其物各々已ニ其根元ヲ含有スルモノニテ決シテ新造創出スルニアラス

其他「エリヤチック」ノ功トスヘキハ宇宙ヲ迷幻トシテ却テ又之ヲ真ナリトスルカ如シ（「ヘーケン」〔人物不明〕ノ二元論ノ如キカ否）

第二「エリヤチック」物理学派〔Epic:115〕

「ゼノフェヌス」及ヒ其門弟ノ唱フル所形而上ノ一辺ニ偏シテ有限界有限物ハ真ニ存スルモノニアラスト断言セルヲ以テ其反動力ニヨリテ物理ヲ主トスル学派起ラサルベカラス之レ今ノ学派【65】ナリ其主タルモノ

第一 Leucippus

第二 Democritus of Abdera

「リューシパス」〔Leukippos〕ハ紀元前五百年代ノ初期ニ生ル其師ハ即チ「ゼノー」ナリ其書ハ「Treatise of Physics, & On the Soul」ノ二種ナレトモ今ハ已ニ亡セリ

「デモクリタス」ハ紀元前四百八十年ニ生ル「リューシパス」ノ門人ナリ埃及（「エジプト」）、「エシオピア」比

耳土垂〔ペルシア〕等ニ遊歴シ印度ノGymnosophistsヲ知ル

解明○「エリヤ」ノ第一学派ハ感覺実験ヲ虚妄ナリト定メシニ此第二派ニ於テハ感覺ヲ本トシ他ハスヘテ歸納法ヲ用ユ其法【66】

「セールス」即チ「アイオニツク」学派ノナス所ニ似タルモ亦異ナル所アリ「アイオニツク」ハ歸納法ヲ人ノ思想以外ニ及ホスト雖モ今学派ニアリテハ歸納法〔ママ〕ヲ用フルモ感覺範圍内ニ止マリテ其以外ニ応用スルコトナシ然ルニ物ノ造出或ハ産出ヲ排シテスベテ原因内ニ已ニ生存スルモノ、發達スルヨリ外ナシト云フノ点ニ至リテハ「アイオニツク」ト稍々似タリ

斯クシテ此理ヲ以テ物界ノ變化ヲ明スニ現象ノ出沒ハスベテ皆物質ノ變形ナリト云フ故ニ哲学ナルモノ唯其變化ノ原理ヲ研索スルニアルノミ此原理ヲ案スルニ二種ノ臆説ノ起ルアリ第一ハ單一ノ理体即チ實質アリテ其中ニ内力ヲ含有スルヲ以テ其自体ニ発スル變形ニヨリテ万化生スルナリト云フ此説ニテハ宇宙ヲ解スルニ力学ノ理ヲ以テスルナリ第二ニハ数多ノ物理アルノ説ナリ其数多ノ物理【67】物質互ニ相数様ノ集合ヲナシ動力ノ規法ニ從ツテ變態万状ヲ現成スルナリ此説ニテハ宇宙ヲ解スルニ重力ノ理ヲ本ツク

故ニ第一説 單一ノ理体、物性 内力 力学

第二〃 数多ノ〃〃 動力 重学

然ルニ「エリヤツク」物理学家ニテハ此中第一説ヲ斥セリ〔Epit.117〕

其理ハ第一ニ純一ノ物理ヲ立テ論スルニ於テハ万物ノ根元ヲ不生滅ノ純理ヲ義トセサルヲエズ其理タルヤ自ラ物質トハ異ナリテ直ニ人心ノ上ニ現具スル能ハズ人ノ之ヲ知ルハ外象ニヨリテノ外知ル能ハズ第二ニ若シ其理体タル全ク定限ノ形相ヲカクモノトナサバ如何シテカ万態千状ノ物象ヲ証明スヘキヤ（然レトモ斯ク第一説ヲ評セシ

モ第二説ヲ成立スル能ハ本何者抗シ第一説ヲ立スル能ハ本何者抗シ第一説ニ反シテ若シ又之レニ反シテ其理体タル一定ノ相形ヲ有スルモノトセシカ然ラハ又如何シテカ【68】他ノ定形ヲ有シタルモノ生スヘキヤ故ニ此第一説理体論即チ「エリヤック」形而上学派ノ論ハ「アイオニック」物理学派ニ起ルモノト均シキ難問アリテ之ヲ解明スル能ハズ右ノ次第ヲ以テ「レウシパス」及ヒ「デモクリタス」[Demokritos]ノ如キ「エリヤック」物理学派ハ第二説ヲトリテ第一説ヲ排ス即チ数種ノ物理アリテ種々ノ変化現象ヲ生スルナリト云フ是ヨリ極微分子ノ宇宙形成ノ原理タル論起レリ其分子ナルモノ無量無数ニシテ其体ニ具フル形相モ又無量無数ナリ其都合集数ニヨリテ万種ノ變形変象ヲ解明スルナリ然ルニ其離合ノ作用アルハ分子自質固有ノ動力ニヨル之ヲ以テ物ノ分数集成ノ変化ヲ証明スルナリ最後ニ至リテ極微分子ノ空距空間ニモ存セサルナキヲ以テ運動ノ到ル所生セラレサルナキナリト云フ此理ヲ以テ「レヲシパス」ニ「デモクリタス」ノ説ハ「パーメニーツ」及ヒ「ゼノー」【69】フエーンズ」氏ノ説ニ異ナルナリ而シテ此分子論ハ「エピキュラス」氏ニヨリテ其後大ニ助成ヲ得タリ故ニ

第二派ノ「エリヤチック」即チ物理哲學家ハ分子論ノ元祖ナリ「デモクリタス」ハ其師「レオシパス」ノ哲学ニ少クモ増補スル所ナシト雖モ然レトモ其説ヲ強大ナラシムルニ至リテ頗ル功ナリ又之ヲ活用シテ心理学ヲ証明スルニ至レリ氏ノ説ニテハ感覺ハ実物体ヨリ生スル影像ナリ其影像人ノ機官ニ触ルトキハ感覺トナル故ニ心ハ外ヨリ内ニ生スルモノナリ即チ外物ノ影像相集リテ心トナル猶ホ分子ノ相集マリテ物質トナルカ如シ其他「デモクリタス」氏ハ道徳学ヲ証スルニ物理ヲ用フ即チ分子ト感覺ノ外心物両界ニ之レナキニ於テハ道義上曲直是非ノ如キ空想アルヘカraz故ニ道徳モ快樂ヨリ外ナシ其多少ニ【70】ヨリテ善惡ヲ等定スルノミ(快樂主義蓋シ此時ニ起ル)

氏ノ説 第一 物界ハ 分子ノ集成

第二 心ハ 感覺ノ

第三 道徳ハ 快樂ノ

「デモ」氏ノ門弟「メトロラス、オプ、チャウス」〔Metrodorus of Chios〕ハ懷疑学ヲトナヘ其元則ニ I do not even know that I know nothing. [Epic. 119]

(批評) 此第二「エリヤチック」学说ノ進歩ハ我人物界ニアリテ万象ノ變化ノミヲ見テ以テ純一不変ノ理体ヲ実視スル能ハズ且ツ帰納法ヲ用フルニ無制限ノ純理ヲ成立スルベカラサルト云フ格言ヲ幾分カ証明スルノカアリ是即チ哲学上ノ一進歩ヲ表スルニ足レリ何者物理哲学ノ理脈稍々明ナレハナリ且ツ物界ノ現象ヲ觀察スルヲ以テ実理学ノ一半ヲ【71】起シ以テ純念唯々、想学ノ起点ヲ補フニ至ル

○次ニ「エリヤチック」二学派ノ批評

要スルニ二派ノ結果陰陽極ノ両点アリ斯クシテ又其派中三論法ニ分ル

第一種 第一ハ「エキセノフエーシス」ハ心理ノ点ヨリ論ス

第二「レオシパス」ハ物理ノ点ヨリ論ス

此二家ハ「オントロジ」ナリ

第二種(第三ハ)「パーメニダス」及ヒ「デモクリタス」ナリ以上ノ「オントロジ」ニ加ウルニ人心上ニ現象スル理ヲ論ス即チ心理学也

此中第一ハ思想觀念上ヨリ第二ハ感覺經驗上ヨリ論ス

第三種 最後ニ「ゼノー」及ヒ「メトロラス、オプ、チャウス」ハ其思想ヲ構成作用スヘキ論理学ヲ定ム【72】
以上再ヒ之ヲ総括スルニ

第一種ハ	実体学 ^{オントロジー}	Xenophanes	＝	「エリヤチック」	第一派
		Leucippus	＝	”	第二派
第二種ハ	心理学 ^{サイコロジー}	Parmenides	＝	”	第一派
		Democritus	＝	”	第二派
第三種ハ	論理学 ^{ロジック}	Zeno	＝	”	第一派
		Metodorus	＝	”	第二派

以上三種ヲ合シテ哲学全系ヲ組成スルモノナリ

此三種ノ階級ハ人智進歩上経過セサルヲエサル順序ニシテ宇宙ノ何物タルヲ知ラント欲セバ第一ニ人ノ思考スル所実物体ノ何タルヲ究スルニアリ已ニ之ヲ知レハ欲シテ心体ノ何タルヲ知ラントス已ニ心物二体ノ何タルヲ究レハ其二者ノ関係理脈ヲ立ツルニアリ斯クシテ三種相遂フテ発達スルナリ

以上ハ陽極点ヨリ論スルノミ若シ其陰点ヲアグレハ

「エリヤチック」第一派形而上学派ニテハ純理ヲ本トシテ是ヨリ進【73】テ定限ヲ有スル物象及ヒ其変化ヲ論セリ然ルニ其理タル無定限ノ体ナルヲ以テ終ニ之ヲ以テ其反対ニ位スル無定限ノ物ヲ論明スル能ハズ

第二派ニモ均シキ難点アリ此学派ニテハ感覚ヲ本拠ト立ツルヲ以テスベテ変化ノ万象ヨリ発シテ無変化ノ物性理ヲ論明スル能ハサルニ至レリ

右ハ両派ノ欠点ニシテ他説ヲ待ツ所ナリ然レドモ此二派ハ其目的ヲ異ニシ方向ヲ異ニスルヲ以テ各々一偏二局シテ互ニ相合スル能ハズト雖モ人ノ思想必ス此二種ノ説ヲ起シ其一ニ傾クノ影響アルハ止ムヲエザル勢ニシテ後ノ哲学皆此理ニヨリテ成長発達セリ乃チ此二派後世哲学ノ原種トナル

次ニ【74】

○中間学派 Intermediate School [Epicr.122]

二派ノ「エリヤチック」学派ニ尋キテ一派ノ哲学ヲ組成スル学者アリ即チ始メハ Heracitus' 次ニ Empedocle 二氏はナリ

第一氏ハ始メ「アイオニヤ」ノ物理学派ニ就キ次ニ「エリヤ」ノ形而上学ノ学ヲ修ム

第二氏ハ「エリヤ」ノ二学说ニ就キテ修学セリ

(解明) 此二者ハ「エリヤ」ノ二学派ト全ク其説ク所異ナルアリ第一ニ物理ノ学ヲ組成セント欲シ火(フアイア)ヲ以テ万物ノ原理トス其説ニヨルニ物象ハ二種ノ原則ニ本ツク即チ和ト不和或ハ愛ト憎トナリ之ヲ今日ノ術話ニヨレハ引力ト拒力トナリ

Laws of love & hatred, or concord & discord, or attraction & repulsion [Epicr.122]

二氏ハ多少異ナル「ママ」タル見識ヲ以テ此理ヲ説ク而シテ二氏共ニ物理上ノ説明ヲナスハ「アイオニア」及ヒ「エリヤ」ノ物理学派ニ一致セリ【75】然レトモ二氏ノ説又前二派ニ異ナルアリ別シテ「エリヤ」物理学家ニ異ナルハ物界ノ外ニ精神智心界ヲ立ツルニアリ理想ト感覺二元ヲ區別シ神ヲ排セズ此点ニ於テハ「ピサゴラス」ノ説ニ合シ及ヒ「エリヤ」ノ形而上学ノ精神論ニ合スル所アリ而シテ其「エリヤ」形而上学派ノ觀念論ハ用キサルナリ

「ヘラクリタス」[Herakleitos] 氏ノ説ハ其前両派ノ物心内外一偏ニ解シタルヲ以テ終ニ自ラ懷疑ノ学ニ陥ルニ至ル氏ハ通常ノ道理ヲ本トシ一般ニ信スル所ヲ真理ト定ム故ニ一人一己ノ説ハ真トスルニタラスト云フ斯クシテ真理ハ普遍一般ノ道理ニアリ虚偽ハ各己義ノ思想ニアリ

次ニ「エムペドークル」〔Empedokles〕氏ハ其哲学ヨリ却テ其死ノ奇ナルヲ以テ著ル一身ヲ「モント、イトナ」〔エトナ山〕ノ噴火口ニ投シテ理学ノ為メニ其命ヲ卒ヘリ

右二氏ハ其目的トスル所「エリヤ」ノ二学派ノ各一論ニ偏走スルヲ見テ別ニ【76】一派ヲ立テルコトヲ期セリ而シテ人ノ道理ヲ本トシテ終ニ懷疑学ノ一端ヲ開クニ至レリ是レ即チ「ソフィスト」学家ノ尋テ起ル所以ナリ

○詭弁 Sophism [Epit.124]

詭弁学者中其派ノ今日ニ伝ハルモノ

Gorgias, Protagoras, Prodicus, Polus, Thrasymachus, Calicles, Hippias

此学派二種ニ分ル

第一種ハ言語文辞ノ学ヲ研究ス 故ニ哲学ニ関スルコト少シ

第二種ハ論說繫辞法ヲ ャ (Dialectical)

此二種ハ議論ト議論ト抗争セシムル事トス其中ニ

Gorgias of Leontium, & Protagoras of Abdera

此諸氏ノ説ハ懷疑ヲ以テ本拠トス其論ニテハ絶対真理【77】ハナキモノト判シスベテ对待トス「ゴルデヤス」〔Gorgias〕氏ハ主トシテ「エリヤ」ノ形而上学ノ理ニ本ツキテ有定限ノ現存ヲ排セリ而シテ又其有限ニ反シタル無限ノ理ハ人智ノ全ク知ルヘカラサルモノトス氏ノ著ス所 of Nature ト称スル一書アリ

次ニ「プロタゴラス」〔Protagoras〕氏ハ「エリヤ」ノ物理学ノ論ニ本ツキテ懷疑学ヲ構成セリ天地ノ現象ハ常ニ変化シテ止マサルモノトス然シナカラ其変化ノ事情ハ人ノ知ル所ニアラサルナリ詭弁論者中ナル一種ノ性質ハ懷疑学ナリ道理ヲ以テ真ヲ昧マシ正ヲカクシ以テ嬉戯トナスニ至ル

若シ此懷疑学愈々世ニ行ハルヽニ至ラハ哲学日ニ衰頽シテ地ヲ払フニ至ラン然ルニ幸ナル哉此ニ反動ノ影響アリ
テ哲学ノ新世界ヲ開發ス是レ「ソクラチース」[Sokrates]ノ学ナリ【78】

第二級「ソクラチース」以後

○「ソクラチース」[Epi:126]

紀元年前四百七十年ニ生レ四百年ニ死ス「アセンス」[アテネ]ノ人ナリ

氏ノ主トスル所 Wisdom of Love ニアリ

氏ノ哲学改革ヲ唱ヘレハ

詭弁学盛ナルヤ哲学大ニ退歩セシヲ以テ之ヲ再ヒ高等ノ位置ニスヽメ氏自ラ倫理ノ一派ヲ起シテ学弊ヲ矯正セシ
ト欲セリ其影響ノ大ナル全ク氏ト其説ヲ異ニスル「エピキュラリヤン」学派モ其説ニ同スルニ至ル

氏ノ説ハ ホルテユ徳ヲ論スルヲ主トセリ 全徳ノ完知ハ神トス夫レ神ハ善良ノ事物ノ主宰ニシテ世界ヲ管掌スル体ナ
リ其徳ノ存スル【79】ハ心靈ソウルニアリトス猶ホ神ノ宇宙ニ存スルカ如シ而シテ神トヒトシク生滅スルコトナキナリ
其徳ノ本分トナルモノニ三種アリ [Epi:127]

第一ハ智慧 (人ノ自身ニ対スル義務ニ関スルモノ) Wisdom

第二ハ正義 (人ノ他人 ヲ定ムルモノ) Justice

第三ハ啓信 (人ノ神 ヲ) Piety

徳ヲ開發スルハ其人ニ関スルモノハ自知制欲ニアリ神ニ関スルモノハ天動神感ニアリ徳ノ極果ハ幸福ナリ神ハ其
極果ノ幸福平穩ヲ護スル術ナリ Felicity Harmony

氏ノ主トスル所哲学ノ目的ト人心ノ性質ヲ研究スルニアリ其目的ハ實際ニ有益ヲ導カント欲ス而シテ之ヲ研究スルノ方法ハ人ノ思想ヲ高度ニ漸進セシメ真理ノ本位ニ達セシメントス【80】

故ニ氏ノ人心ヲ論スル心体中ニ真理ノ萌芽アレドモ情^{パッション}ノ為メニ掩蔽ヲウケ自在ニ發達スベカラサルナリ故ニ我人ノ務ムル所此掩蔽ヲ除去シテ其中ニ本来存スル所ノ真理ヲ開發自在ナラシムルニアリ

「ソクラテース」ノ哲学降進ノ二段アリ進段ハ哲学ノ組織ヲ構成シ之ヲ完成スルニアリ其学派ハ即チ Platonism, Aris [fo] telianism, Epicureanism, Stoicism ノ数派ナリ [Epit.128]

降段ハ全上ノ組織ノ漸々退落スルニアリ其極点其説全ク地ニ落チテ懷疑学公然タル一組織ヲ大成スルニ至ル

第一 昇段○小学派 [Epit.128]

哲学組織

「ソクラテース」ヨリ「エピキュラス」ニ至ル中間ノ時期ニ於テ其後一大【81】哲学系ヲ組成スヘキ一ノ元素トナルヘキ数様ノ思想起ル

此思想ヲ分ケテ二種トス第一種ハ「ソクラテース」ノ原論ニ本ツキ其後起ル所ノ大系ノ端ヲ開ク第二種ハ「ソクラテース」以前ノ学ニ本ツキ之ヲ永續保持シテ多少「ソクラテース」ノ学ヲ雜ヘタルモノナリ

第一種ハ Antisthenes and Aristippus トニフ学者アリ

第二種ハ Pyrho and Euclid of Megara 》

第一種学派

「アンチセーセンス」[Antisthenes]ハ紀元前三百八十年哲学ヲ唱ヘタル人ニシテ Cynic Schoolノ元祖ナリ此学派中ニハ Diogenes ナルモノアリテ其名最モ著ル是学派ヨリ「ストイック」学派ノ端ヲ發スルナリ

「アンチセーニス」ハ「ソクラテース」学ヨリ主善ハ徳ナリ全徳ハ神ナリテフ原理ヲトリテ一説ヲ起セリ神ハ全ク独立シタルモノニシテ其【82】与フル所ノ徳亦外物ノ伝ヲ脱シタルモノトス故ニ若シ外物ノ其徳ヲ妨クルアルトキハ之ヲスツルヲ本トス其独立ヲ維持セン為メニ名誉快樂ハ勿論社会ノ文化モ風俗ノ美良モ學術ノ進歩モ尽ク排斥セリ

「プラトール」ハ均シク「ソクラテース」ニ本ツキ徳ヲ本トセリト雖モ氏ハ徳ヲ以テ人性ニ応合セシメント欲ス然ルニ「アンチセーニス」氏ハ人性ヲ以テ徳ニ帰順セシメント欲シ終ニ人事ノ如何ヲ顧ミズ唯、一己ノ徳ヲ持セント欲セリ

「アリスチパス」〔Aristippos〕氏ハ紀元前三百八十年ニ名ニアリテ Cyrene 学派ノ開祖タリ是ヨリ「エピキュラス」学派起レリ即チ

The school of Cyrene was a preparation for Epicureanism as the Cynic school was for Stoicism [Epit.130]

「アリスチパス」ニ尋テ此学派ノ主タルモノ【83】

Metrodactus, Hegesias, Anniceris, & Theodorus ノ四氏ナリ [Epit.130]

此学派ノ主義ハ「ソクラテース」学派ヨリ諸哲学ハ實際上ノ目的ヲ有セサルヘカラズ而シテ其目的ハ人間ノ幸福ヲ本トセサルベカラザルノ原理ヲトリテ立ツルナリ然レトモ其目的ト定ムル所義務ヲ尽クシテ以テ人ニ幸福ヲ得セシムルニアラス義務ヲ守ルカ如キハ却テ之ヲ壊斥シ快樂ヲ以テ幸福ヲ得ルコトヲツトムルヘシ斯クシテ此学派ハ「エピキュラス」ニ入ルノ道ヲ開ク唯、此ニ学派ノ異ナルハ「セレニック」学派ハ「アンニセリス」〔Anniceris〕氏ヲ除クノ外其幸福ト称スルモノスベテ目前實際快樂ニ止マリテ其主トスル所肉身五官ノ快樂ナリ然ルニ「エピキュラス」学派ハ人生一体ノ快樂ヲ主トスルヲ以テ肉身ノ快樂ノミニ止マラス智力心意ノ快樂ヲモ

算入スルナリ【84】

「セレニック」学派ハ其道徳学ヲ論スル感覺ノ外部ニ知識ノ本源ヲ研究セザルナリ其中又一二ノ学者ハ外境ノ真理ヲ知ルモノトシテ感覺ヲ論スルニアラス外覺ニ伴生スル主觀ノ性質ヲ論スルナリ即チ苦樂ノ二覺ナリ而シテ唯々苦樂ヲ求ムルヲ是レ務メテ別ニ真理自体ノ何物タルヲ論スルコトナシ故ニ五欲ノ快樂ハ人間自然ノ要情ニシテ肉身目前ノ樂ヲ主トシテ真理ノ本体ヲ斥スルハ其学派ノ一弊ニシテ就中「セオドシウス」〔原典一三〇ページによればテオドロス Theodoros の誤記〕氏ヲ以テ其主タルモノトス是ヨリ氏ヲ名ケテ *atheist* ト呼ベリ

第二種学派

1. Pyrrho or the Skeptical School ○ [Epir. 131]

「エリヤ」ノ「ピルリオ」[Pyrrhon] 氏ノ学ハ其門弟「チモン」(Timon) ニヨリテ發達ヲウケタル一種ノ混合学派ナリ【85】

哲学ノ主トスル所徳ニ外ナラストスルハ「ピリレオ」ノ「ソクラチス」ノ学ニ本ツケル所ナリ然シテ其異ナル所ハ サイゼニス 理学ノ無用ヲ論シ又其益ナキコトヲ評セリ此点ハ「ピロニズム」(Pyrronism) ノ「ソフィスト」ノ哲学ヲ用フル所ナリ故ニ此学派ハ「ソクラチス」ト其以前ノ二種ノ哲学ノ混同シタルモノナリ次ニ

2. Euclid or the School of Megara

紀元前四百年此ニ「ユークリッド」[Eukleides (Megara)] 氏ノ創設シタル「メガラ」ノ学派ハ「エリス」及「エレトリア」(Elis & Breaia) 学派ト連接シタルモノニシテ「エリヤ」ノ形而上学ヲ多少相伝フルモノナリ而シテ又多少「ソクラチス」ヲ取捨セシ所アリ此学派中「エウークリッド」氏ハ原一ヲステ真理トス而シテ「ゼノフエーンス」及ヒ「パーメニデス」ニ異ナルハ オントリジ 実体学上ヨリ之ヲ論スルニアラズシテ道徳学上ヨリ之ヲ論スルナリ是レ

則チ「ソクラチース」ノ学ニ拠【86】ル所ナリ氏ハ故ニ絶対現体ゼンケンヲ絶対善イデアトス其他ノ「メガリック」学者ハ別ニ論スヘキコトナシト雖モ感覺ノミヲ以テ思想ヲ構成スル能ハサルノ論理ヲ明ス

○大学派哲学（組成） [Epit.132]

此学派ヲ分チテ四部トナス即チ「ソクラチース」ノ学斯克分ルヽナリ

第一部ハ「プラトール」ノ学派ナリ

此学派ハ感覺境外ヨリ理学ヲ論定スルモノニテ「ピサゴラス」学派及ヒ「エリヤ」形而上学派ノ其主義ヲ固クスルモノ

第二部ハ「エピキュラス」ノ学派ナリ

此学派ハ「エリヤ」物理学派及「アイロオニヤン」物質学派固有ノ主義ヲトルモノナリ

第三部ハ、「アリストートル」 [Aristoteles] 学派ナリ【87】其主義トスル所「ヘラクリタス」及ヒ「エムペドール」学派中多少之ヲ論スル所アレドモ其他ニ未タ論セサルモノナリ即チ中庸ノ学ニシテ唯念論ト唯覚論ヲ折衷シテ其中道ヲトルナリ

（注）「アリストートル」ハ「エピキュラス」ノ前ニ起ルト雖モ此学派ハ「プラトール」ト「エピキュラス」ニ派ノ中庸ニ渉タル学ナルヲ以テ斯克次第スルノミ

第四部ハ「ストイシズム」学派其元祖ヲ「ゼノー」 [Zenon (Kyprios)] トス

此学派ハ「エピキュラス」ノ唯覚論ト「プラトール」ノ道德学ト接合シタルカ如キ一派ナリ

○第一部 「プラトール」 学派

「プラトール」ハ紀元前四百三十年ニ生ル「ソクラチース」ニツキテ哲学ヲ学ヒ其死後一派ノ学ヲ起ス其学ノ基礎

ノ解釈アリ一ハ理想ノ本質トシ一ハ外相原因トスルナリ (Substance of Ideas & Cause & Forms) 而シテ「プラト」ハ神ヲ知ルハ言説ヨリ外ナシト云フ

創造○神ノ性質ハ純一ト普通ト不変ノ三ナリ人界ノ相ハ数端ノ一定ノ変化ナリ此第二ノ性質ハ全ク神ノ性質ヨリ異ナルヲ以テ人界ハ神ノ創造シ能ハサルモノナリ故ニ人界ノ本質トナルベキモノハ神ノ外ナクンバアルヘカラス之ヲ物質ト云其体ハ定相ナク不知無覚ニシテ所作用ナリ故ニ其物質ノ世界ヲ構成スルニハ能作用ノ力ヲ有スル神ヲ待タサルベカラズ然ルニ神ハ物質ト全ク其性質ヲ異ニスルヲ以テ直チニ其作用ヲ物質上ニ及ホスヘカラスニ於テ物神両体ノ中間ニアリテ其媒介ヲナスモノ【91】ナクンバアルベカラス之ヲ世界精神ト云フ (soul of world) 此第三ノ中間ノ理ハ神ニアラス物ニモアラス其間ニワタル所ノ天法ナリ故ニ曰ク God is to the soul of the world as the soul of the world is to matter ; Universe is a great law of proportion. ト云フ [Epic. 137]

是ニテ知ルヘシ斯クシテ世界ノ精神ヲ立ツルヲ以テ宇宙ノ理ヲトクコトヲウベシト雖モ此ニ解スヘカラサルハ其理タル本来自有ノモノカ

又物神中ヨリ生スルモノカ若シ之ヲ本来固有ノモノトスルトキハ何故ニ自有ナルカ物神二元ノ外ニ何故之ヲ設クルヤ

又其理ハ神ヨリ来ルモノトスレハ何故之ヲ物神二元ノ外ニアルモノトセシヤ此点ハ「プラト」ノ説ニ考フルモ未タ判然タルザル所ニシテ後ノ学者氏ノ説ヲ補フテ曰ク此世界ノ精神ナルモノ一種固有【92】ノ理ニハアラスシテ神ト物トノ關係ヨリ生スル一結果ニ過キズ神ノ力ヲ物質ノ上ニ及ホズ「ママ」トキ此理法ノ生スルナリト云フ此物神二元論ハ唯ニ宇宙創出ヲ解クノミナラズ惡ノ起源ヲ説明スルコトヲ得夫レ惡ハ物質ト同シク自然本有ニシテ物質ニ属スル性ナリ善ハ之レニ反シテ理想ニ本ツクヲ以テ及ホセバ其惡次第ニ減消シテ漸々理想ノ本界ニ昇造

スルコトヲウベシ之ヲ造化創造ノ順序ト云フ

宇宙○宇宙ニハ前後見ル所ニヨリテ其理ヲ異ニス一ハ精神原理即チ世界ノ精神ニ関シ一ハ其精神ノ体ヲ構造スヘキ物界ニ関ス此二種相合シテ一宇宙ヲ組成ス宇宙間ノ精神諸半神ノ諸人ハ世界ノ精神ノ体分レテ数種ノ心靈トナルナリ【93】此心靈ニヨリテ諸有機体生活物トナルベシ故ニ諸心靈ハ世界精神ヲ其中軸トスルナリ。宇宙ノ物理界上ニテハ物界ノ二種ノ原理アリ地素ト火素ナリ地素ニアラザレハ固体ヲシル能ハズ火素ニアラザレハ光線アル能ハズ一ハ触感的ニシテ一ハ視覚体ナリ此二種相似ノ点ヲ有セザルヲ以テ神ノ其間ニアルアリテ風水ノ二元ヲ以テ之ヲ応合セリ此流体アルヲ以テ一ハ火ニ接シ一ハ地ニ類ス一ヲ性質アルユヘ之ヲ結合スルニ風^{エーデル}ハ火ニ通シ水ハ地ニ通ス。宇宙ノ心理学ト生理学トハ理學上二種ヲ分ツト雖トモ其実一体ニシテ全宇宙ハ一大生活物ナリ此一大活物ハ時間ト運動ニヨリテ其作用ヲアラハス時間ハ不限体ノ変相ニシテ其純一ノ点ニ至リテ不限体ナリ運動ハ其宇宙ノ精神ノ諸作用ナリ一世界ハ無始無終ナレトモ之ヲ時期ニ分ツ其時期巡回シテ其終期ニ至【94】レハ又元始ニ復スルナリ

人○人ハ心身ノ二類ニ區別シ心理学以テ心ヲ論シ生理学以テ身ヲ論ス心亦智力ト愛情ト二種ノ関係ヲ有セリ智力心ニ亦感覺ト總念ト理想ノ三種アリ又愛情ニモ之レニ合スル三種アリ純善ノ愛情ハ理想ニ合シ惡情ハ感覺ニ応シ其中間ニ位スルモノハ總念ニ応スルニ而シテ理想ニ関スル心情ハスベテ頭中ニ存シ情緒ニ関スルモノハ心臟中ニアリトス心意ノ下種ハ腸中ニアリトス此三種相応合シテ有機体ノ基礎トナルナリ

論理及心理○論理ハ智力ニ関シタル心意^{ソール}ノ隨行スル規則ヲ云ヒ心理ハ愛情ニ関シタル心力ノ隨順スヘキ規則ヲ云フ

第一論理○論理亦分レテ三種トナル [Epic:141]

1. absolute invariable, certainty relates to Idea 【95】

2. Probable (middle), „ to notion

3. Imperfect limited to individual obj. „ Sensations

「プラトール」氏ノ論理学ハ多少「アリストートル」ノ論理学ノ基礎トナリシハ必然ナレトモ其方法ニ至リテハ大ニ異ナルアリ「プラトール」氏ハ先天法ニシテ「アリストートル」ハ後天法ナリ

第二倫理○倫理ハ愛情ニ関シタル学ニシテ其目的ハ其下等ノ愛情ヲ制止シテ高等理想ノ愛情ニ達スルニアリ其理想ノ純全ナルモノハ神ナルヲ以テ倫理ノ本ハ神ニ倣スルニアリ善ノ本ハ真理ニ合達スルニアリテ美術ノ本ハ美ニ達全スルニアリ

政理学○倫理ハ社会組織ニ応用スルモノヲ政理学ト云フ故ニ政理ニアリテハ一社会ヲ一人ニ見倣シテ純全ノ理想ニ達スルヲ目的トス 【96】

来世○「プレトール」氏モ心魂不死ヲ唱ヒ来世ノ現存ヲ説ク又来世ノ賞罰ヲモ論ス

批評○「プラトール」氏ハ「エリア」ノ両学派ヨリ大ニ其原理ヲ異ニセリ其一派ハ有限ノ現存ヲ論シ他ノ一派ハ無限ノ現存ヲ論ス然ルニ「プレトール」〔表記不統一〕氏ハ此二体ノ現存ヲ許受シ之レニ本ツキテ諸理ヲ考成ス其外ノ氏ノ哲学中ニ於テハ諸相ヲ合シテ一理ニ帰セシムルノ功アリ故ニ其哲学ハ希臘先学上ノ学ニ勝ルモノト云フヘシ即チ氏ハ諸学派ノ諸説ヲ連続合成シテ一家ノ見ヲ加ヘ以テ一派ノ学ヲ起スナリ而シテ氏ノ哲学ニアリテハ諸相ヲ合シテ純一ノ理ニ帰ス其理タル論理上純一ナルノミナラス客観上亦純一ナリ何者ハ理想ト其体ハ相離レタルモノニアラサレハナリ

全上ヲ総括スルニ 【97】

		Theory of Knowledge	
Ideas	Notions	Sensations	
	intermediate bet,		
	ideas & sensations		
		Theory of Universe	
God	the Soul of the World	Matter	
absolute necessary	pertakes of the nature of principle of the variable the relative		
aimmurttable etc	God & that of matter		
理	魂	物	
	The Human Soul		
Region of the Intelligence	Reg. of the intel. of love	Reg. of Love	
& love, corresponding to Ideas	cor. to notions	cor. to sensations	
理智	念知	念愛	
理愛		愛【98】	
	Human Organism		
the Head	the heart	the intestines	

the superior part of the soul organ of the passion organ of intimate affections of the soul

apodictic Logic Logic Epicheirematic L. Enthymematic L.

Love of Absolute Morals Complex Lv Sensual L.

Learned class Politics Intermediates Labouring c

【6】 devoted to the contemplation of truth bet. the philosophers & labourers [Epic.146]

第二部「エピキュラス」学派 [Epic.147]

氏ハ紀元前三百四十一年ニ生ル「プレートー」及「デモクリタス」氏ノ門弟ニ連リ、終ニ「デモクリタス」ノ説ヲ取り之ヲ進捗スルコトニ力ヲ尽シ一派ヲ起スニ至ル

氏ノ哲学ノ主意タル幸福快樂ニ人ヲ導クニ外ナラズ「プラトー」ノ論スルカ如キ真理純善秩序等ハ全ク論セズ又

一箇人ヲシテ全体ニ随服セシムルカ如キ倫理上ノ善徳ハ其哲学ノ部類ニアラズシテ一箇人ニ關係シタル快樂ノミ本トスルナリ人其幸福ニ達スルヤ道理ヲ以テ本トセサルベカラス道理ニアラザレハ其幸福ノ妨害トナルモノヲ除去スル能ハズ故ニ氏ノ哲学ニテハ感覺ト予料〔anticipations〕ノ二カヲ説ク感覺ハ外物ノ直チニ我【100】人ヲ感ゼシムルモノ予料力ハ感覺ヲ概括シタルモノ動物ハ感覺ノミヲ有スレトモ人ハ二者ヲ有ス道理ハ予料力ヨリ生ス人理〔human reason〕ハ二種ノ力ヨリ生ス一種ハ外物ヨリ生スル感覺ニシテ一種ハ其反動ノ理解力ナリ然ルニ理解力ハ其実感覺力ノ外其作用ヲ顯ズヘキナキヲ以テ二種ノ本源ハ感覺ノ一種ニアリトス其成長雜錯ニナリタルモノハ道理ナレハ道理上ノ誤謬ハ感覺ニ照会シテ正スヘキヲ本トス

斯クシテ道理力ニヨリテ人ハ其苦難ヲ免カルヘキ規則ヲ得タリ其諸苦ノ原因ハ内外二種アリ

自知○人ニハ自知ノ心アリ其心ハ本ト感覺ノ外別体ナキヲ以テ心力ハスベテ一箇ノ物体ニ關係シ苦ヲ避ケ樂ニ就キ以テ自身ヲ幸福ニ導クヲ本トス義務モ幸福善義ヨリ外ナシ倫理ハ幸福ヨリ外ナシ【101】

物理○物理ヲ研究スルニ当リ氏ハ「デモクリタス」氏ノ説ヲツギ感覺ノ外心体ナキヲ説キ又物体ノ外宇宙ナキヲ論シ其極不増不減ノ極微分子ニ達ス之ヲ万物ノ原理トス「デモクリタス」ハ分子ハ直線ニ運動スト立ツルニ「エピキュラス」氏ハ之ニ第二ノ曲線運動ヲ加フ氏ノ分子論ヲ起スハ快樂主義ヲ証セントスルニアリ其無神教ヲ唱フルモ之レニアリ

「エピキュラス」氏ハ其実神ヲ立テサルニアラズ人間独り快樂ヲ有スベキニアラザレハ之ヨリ完全ノ幸福ヲ有スルモノアルベシ之ヲ神ト云フ然レトモ氏ハ其神ヲ以テ全ク此世界ノ外ニアルモノトス此世界ハ神ノ造出スルモノニアラス又此人間ハ神ト關係ヲ有スルモノニモアラスト論シテ歸スルニ無神論ナリ

社会○社会ノ原理ハ自利自欲ニアリ即チ幸福快樂主義ニアリ神命ヤ正義ノ如キ毫モ社会ノ原理ト立テズ其社会ノ

固続スルモ苦ヲ避ケ楽ニ就カントスルニアルノミ【102】 [Epic.151]

批評○「アイオニヤン」或ハ「エリヤチック」ノ物理学者ニ比考スレハ「エピキュラス」氏ノ哲学ハ前者ノ発達シタルモノナリ氏ノ後ニ顕レタル唯物理学モ又此組織ノ内ニ帰スヘシ故ニ希臘羅馬ノ唯物論者ハ尽ク氏ノ説ノ右ニ出ツルコト能ハズ恰モ唯心論ノ「プラト」ノ右ニ出ツル能ハサルカ如シ故ニ此二氏ヲ以テ古代ノ諸学ヲ統合スルコトヲ得ベシ

「エピキュラス」氏ノ説ハ「ソクラチス」氏ノ説ニ全ク相反スルカ如シト雖モ其異ナルハ唯、「ソクラチス」ハ理論ニ止メ「エピキュラス」ハ實際ヲ本トスルニ由ル實際ニ実用スル為メニ幸福論ヲ起スナリ「プラト」ニ異ナルハ氏ハ感覺以上ニアルカヲ本トシ「エピキュラス」ハ感覺ヲ中心本礎トスルナリ

第三部学派

「アリストートル」【103】

史記○亜里士徳 [Aristoteles] ハ起源前三百八十四年ニ生ル「アセンス」府ニユキテ「プレト」ノ講述ヲ聴キ後卒ニ一派哲学ヲ起ス「マセトン」 [Macedonia] 王「フィリップ」 [Philippos II] ノ招聘ニ応シテ「亜歴山」 [Alexandros] 王ノ師トナル王ノ印度征討ニ当リテヤ氏ニ贈ルニ其地ノ諸史諸学ノ記類ヲ以テス

He [Alexanders] was careful to send him the historical & scientific documents which his victories put at his disposal. [Epic.153]

余ハ「プレト」及「エピキュラス」氏ノ哲学ヲ論スルニ当リ人知ノ本源ヲ以テ始メトス今「アリストートル」ニ於ケルモ亦然リ「アリストートル」ハ「プラト」氏ノ説ニ抗シ又「エピキュラス」氏ニ抗ス其「エピキュラス」氏ヲ駁スルニ「エリヤ」ノ物理学派ニ云フカ如キ唯覚論トスレハナリ故ニ亜里士徳ハ「プレト」【104】氏ノ

唯念論ノ一半ヲトリ「エピキュラス」氏ノ唯覚論ノ一半ヲトリ二者ヲ折衷シテ一派ヲ開クナリ

故ニ氏ノ格言ニ知識中ニハ感覺ヨリ来ラサルモノナシト云ヘリ而シテ又氏ハ偶然ト必然及ヒ比対ト絶対トヲ區別シ其必然絶対ハ「プラトール」ノ理想ニ同シ氏ノ説ハ唯念唯覚二者ノ中庸ヲトルナリ

氏ハ論理ノ形ト体トヲ分ケ「form & matter」形ハ心ヨリ来リ体ハ感覺ヨリ来ルトス斯クシテ氏ハ論理学ヲ以テ道理ノ法則ト定メ理学ノ基礎ヲ立テ弁明スベカラサル理ヲ以テ基本トス是ニツイテ氏ハ理学ヲ三部ニ分ケ第一ハテルム言説 思想ノ表象 第二ハ アロポレシヨン命題 判断ノ表示 第三ハ アークメナンテシヨン立論 ナリ第三ヲ以テ論理学ノ本旨トス之ヲ分解スレハ諸命題ヨリ成リ命題ハ言説調和ヨリ成ル故ニ名詞ヲ以テ論理ノ初元トス「アリストートル」氏ハ其名詞ヲ十種ノ思想ニ分リ【105】

Substance

quantity

quality

relation

12 Categories

action

passion

time

place

position

Habit

此種類ヲ作用セン為メ五種ノ実位説 (predicables) アリ

genus, species, difference, property & accident [Epic. 157] 【106】

此前後二類ノ異ナルハ第一十種ハ実在中ニ包有シタル意ヲ表示シ第二五種ハ模形フホムシラノミヲ表示ス

アリストートル氏ハ第一ニ文典上ニ関シタル諸類ヲ頭ハシ第二ニ命題ヲ分類シテ単簡シムプル、複雜コンプレキス、說正アツファホルチーブ、說不ネガチーブ、
全称ユニホサル、特稱パイチキユラル、不定インデヒニツト、単稱シシキホエル、道義モラルトナル立論式ヲ立ツル亦然リ是ヲ以テ推測式ヲ作ル

右ノ如キ論理学ヲ立論法ト名ケ Demonstration 之ニ異ナル一種アリ之ヲ弁論法ト名ク Dialectic
氏ハ次ニ理学ヲ論シテ之ヲ二種ニ分ツ

第一 思弁 speculative 第一 metaphysics

第二 mathematics

第二 實際 practical 第二

形而上学ハ專ラ抽象思想ニツイテ論スルモノニシテ其本ク所【107】同物ハ同時ニ現在スル能ハス論理ニアリ是ヨ
リ進テ物ノ実体実質ヲ論スルニ至ル

第三 speculative National History

Psychology

3 principles

4 Causes comprise general physics

4 [γ γ] Elements

morals

氏ノ道義ヲ論スル欲望ヲ道理ヲ以テ制滅スルヲ云フ之ヲ以テ道義学ノ目的トススベテ情ノ極端ニ走ルヲ制シテ其中庸ヲ保タシムルニアリ【108】

第二政治学ハ其道義学ニ異ナル一箇人ノ関係ヲ正スノミナラス外ヨリ法律ヲ用キテ規定スルモノヲ云而シテ其主義亦中庸ヲ取ルニアリ君民ノ間一端ノ過度ニ走ラサルヲ以テ正義トス

第四部 ストイシスム [Epicr.162]

其学祖ハ紀元前三百六十二年ニ生レタル「ゼノー」ト云フ人ナリ

之ニツクモノ「クリシパス」[Chrysispos] トス即チ「ゼノー」ノ門弟ナリ

此学派ハ「プラトール」「アリストートル」「エピキュラス」三氏ノ学ニ異ナリ此学ノ甚シク一方ニ偏スルニアラス其故ニ論理物理倫理ノ三種ヲ用フレハナリ然レトモ其中倫理ヲ本トシ他ハ之レニ属ス而シテ又三大学派ヲ統一シタルニアラス唯々唯覚唯物論[sensualism and materialism]ト唯心唯神論[spiritualism]ト【109】ヲ接合セリ此接合ヲ以テ本学派ノ要点トス故ニ主トシテ「エピキュラス」及ヒ「プラトール」両氏ノ学ヲ合スルモノ、如シ

第一ニ唯覚ニ対シテ宇宙間身体ノ外一物ナキヲ許シ諸物能作^{アソクチトイハズシテ}所作ノ兩用ニ分ル此能作ノ理ヲ神ト名ク物質ノ所作体ナリ精神ハ大小ノ二種アリテ共能作ノ理ニ属ス小精神ハ大精神ヨリ分散セルモノニシテ其体三遠ナレドモ一時ハ大精神ニ復化スル時アルヘシ世界ハ大氣即チ能作ノ理ニヨリテ成ルヲ以テ又其理ニヨリテ墮撥スルコトアルヘシ斯クシテ宇宙ハスヘテ其体ニ保有スル運命法 law of fate ニ従フモノトス [Epicr.164]

爰ニ又他ノ正義アリ即チ人事ノ本心トスヘキハ快樂ニアラスシテ正理ニアリ賢聖ノナス所ハ正理ニ反シテ動カントスル精神意志ヲ抑制シテ道理ニ本ツキ正直ヲ守ルナリ故ニ正即チ善不正即【110】悪ナリ正ハナク不正トナキモノハ善ニモアラス又不善ニモアラス賢人君子ノ専ラ紛争ハ神ニ類似セントスルニアリ人ハ全世界ノ一部分ニシテ全体ノ法則ニ従フテ挙動セサルヘカラス此法則ハ世界ノ上ニ顕スル所ノ神ノ作用ナリ何者神ハ其真体正又直ヨリ外ナシ

此派ノ徳道ハ二主義ヲ基本トス第一ハ正理ニシテ感覺上ヨリ派生セサルモノ第二ハ義務ニシテ運命ト同一ナルモノニアラス是レ他学派ニ異ナル所ナリ

之ヲ要スルニ「ストイスム」ノ学ハ「プラトール」ト「エピキュラス」氏ヲ折衷シタルモノニシテ猶ホ「アリストートル」氏ノ如シ而シテ「ストイスム」ハ倫理上之ヲ折衷シ「アリストートル」ハ論理上之ヲ折衷ス【Epic.166】

「プラトール」ハ人心ヲ高尚ニ進メントシ「エピキュラス」ハ之ヲ卑クシ【11】「アリストートル」ハ之ヲ規則セントス「ストイスム」ハ人間ヲ本トシテ智力ヲ主トセズ

此学ノ長スル所ハ感覺ト理想ト二派ヲ接合シテ徳道ヲ立テタルニアリ而シテ其弊ハ人ヲシテ自高自慢ノ心ヲ生セシムルニアリ「ストイック」家自ラ信ス自身ハ道徳上神ト同体ナリト何者ハ神ト共ニ天法即運命法ニ従ヘハナリ且ツ神ノ如ク自身ハ一個ノ意力ヲ以テ正理ニ達スルコトヲ得而シテ終ニ神ト同体ノ安静ノ地ニ其精神ヲシテ住セシケルコトヲウベシ仏教ニモ稍々此弊アリ

是ニ由テミレハ「ストイスム」ハ人力ニヨリト「テ？」神化スルノ教ナリ（仏ノ聖道門ノ如キカ）【a dedication of man, wrought by the powers of man alone. Epic.166】【11】

希臘哲学ノ衰期○【Epic.166】

以上四大部哲学此後五ニ永続センコトヲツトムト雖モ漸々衰微ノ兆ヲアラハス此時ニ当リテ希臘学者哲学ノ精神カヲ失ヒ唯々ニ学派残ルノミ即チ一ハ「トレミー」〔Ptolemy〕ニアリ一ハ羅馬ニアリ而シテ羅馬ハ唯々希臘学ノ「ラテン」訳ニ変シタルノミニテ其実異説ノ起リタルニアラス

第一「プラトール」学派ノ永続〔Epir. 167〕

之ニ新旧二派アリテ旧派ハ学祖「プラトール」氏ノ主義ヲ変セスシテ伝フモノ新派ハ之ヲ変シテ伝フルモノ此新派又二時期ニ分ル第一ハ「アルセシロース」〔Arkesilaos〕氏ニ始マル之ヲ第二学派又ハ中学派ト云ヒ第二時期ハ「カーニデス」〔Karnades〕氏ニ起ル之ヲ新派ノ祖トス

夫レ「プラトール」ノ学至テ高尚ニシテ他学派ノ如キ浅近ノモノニアラス【113】故ニ一時ハ大ニ勢力ヲ有セシカ○其学ヲ唱フルモノ或ハ其学ノ高尚ニ過テ自ラ鮮スル能ハス疑ヲ其間ニ入ル々ニ至ル是レヨリ其学俄ニ卑淺ニ落チ其一端ハ転シテ懷疑学ヲ説クニ至ル

中新両学派ノ起ルハ人智ヲ以テ物ノ真相ヲ知ルヘカラス唯之ヲ知ルハ実ニ近キヲ知ルノミト云フ点ニアリスヘテ我人ノ物トシテ知ル其外象ニシテ其実体ハ知ルヘキ手段ナシ故ニ我人ノ知ルモノ一トシテ純真ナルモノナシスヘテ蓋然ニ止マル是レ其論「アルセシロース」〔Arcesilaus〕氏ニ始メリ「カーニデス」〔Karnades〕氏ニ至リテ愈々明カニ終ニ羅馬ニ入りテ「シセロー」〔Marcus Tullius Cicero〕氏ノ哲学ヲ構成スルニ至レリ氏ノ哲学ハスヘテ蓋然ヲトリ必真ヲ謂ハス

第二「アリストートル」学派ノ永続

第一ニ「セオフラスタス」〔Theophrastus〕氏アリテ物理心理共ニ動力ノ法則ノ外ナキ【114】コトヲ証セントス是レ「アリストートル」ノ神学神ヲ以テ宇宙ノ能動原体トスルニ由ル次ニ「ストラトール」〔Strato〕氏紀元前二百年

代諸現象運動ト重力トノ外ナキコトヲ証ス其他スヘテノ理論ハ名ノミニテ実ナシトセリ

第三「エピキュラス」氏永続 [Epic. 172]

此学後ニ伝ヘリ終ニ羅馬ニ入ルト雖モ別段記スヘキ変化ナシ

第四「ストイック」学派 [Epic. 173]

学祖「セノー」已ニ理学ト道義ノ兩種ヲ以テ哲学ヲ起セリ故ニ其門弟中後ニ議論分レ一ハ倫理ヲ本トシテ物理ト論理ヲ取ラス一ハ之ニ反シ理学ヲトリテ道義ヲ立テサルニ至ル数年ノ後其本説「プラトー」及ヒ「アリストートル」等ノ諸学ト混合シ其学終ニ衰微スルニ至ル【115】

第五 懷疑学派 [Epic. 176]

希臘ノ諸派漸ク衰フルニ及ヒ懷疑ノ哲学思想中ニ入ルアリテ真理トカ実經トカスヘテ之ヲ疑フニ至ル於是復タ昔日ノ詭弁学家ノ一派懷疑学ノ起ル勢アリ「ピロー」[Pyrrho]氏ノ所謂懷疑学ハ已ニ衰クト雖モ終ニ其余流ヲウケテ一派ノ懷疑学再興スルニ至リ此新派ハ「エーニシデマス」[Aenesidemus]氏ヨリ「セキスタス、エムペリカス」[Sextus Empiricus]氏ニ伝ヘテ愈々顕ル

此時「ドクマチスム」ト云フモノアリテ論理ノ標準天然ニ存スルモノト假定ス懷疑学派ハ之ヲ取ラズシテ曰ク第一ニ其標準ノ真偽ヲ論定セサルヘカラス未タ其純真ナル証ナキニ於テ之ヲ標準トシテ論理ヲ立ツル【116】甚タ危シト云フ

定 義ナルモノハ固ヨリ用ナキモノナリ若シ之ヲ用フトナラハ所有家ニ其定義ヲ下サルヘカラス

此学派スヘテ真理ヲ排棄スルヲ以テ人智人理スラ排棄スルニ至ル

【117】～【120】は空白]

【121】

瑣克刺底〔ソクラテス〕氏

〔以下138枚目から Johann eduard Erdmann, *A History of Philosophy*. English translation edited by Williston S. Hough, vol.1. London 1890 が参照されている。以下 Erdm と略記する。ソクラテス伝記事項はその78ページが参照されている。〕

紀元前四百六十九年(或云四百七十年)希臘雅典府〔Athen〕ニ生ル 紀元前三百九十九年ニ生ス〔死スの誤記〕
年齢七十余

其父ヲ Sophroniscus ト云フ彫刻師ナリ其母ヲ Phaenarete ト云フ Midwife (中妻)〔助産師〕ナリ其妻ヲ Xantippe (短気ノ女) ト云フ数子アリ

氏ノ教育ハ誰レニ從ヒテ受ケタルヤ明カナラス普通ノ教育ノ外ハ受ケサルナラン一説ニ「アナキサゴラス」ヲ師トセリト云フモ信ヲ置クヘカラス蓋シ氏ノ教育ハ讀書交際ヨリ得タルモノナラン氏以前ノ哲學者ノ著書并ニ詭弁學者ノ論說ヲ讀ミ當時ノ學者ニ交際シ自ラ【122】思考工夫シテ一家ノ学ヲ起セシナラン

氏ハ始メ父ノ業ヲ繼キ彫刻師ナリシモ其心ニ自ラ感スル所アリテ其業ヲ廢シ哲学ノ改良ニ従事セリ

氏ハ国民ノ義務トシテ兵役ニ従事シテ其功アリシ兵役ヨリ歸リテ雅典ニ住スルニ及ヒ其質素儉約ヲ以テ市人ヲ驚カセリ而シテ氏ノ人タルヤ正直嚴肅ニシテ而モ温厚篤実ノ風アリ人ノ敬服スヘキ人ナリ氏ハ一生子弟ヲ教育スルコトニ従事セリ門弟四方ヨリ其門ニ集マル氏一タヒ哲学ヲ唱フルニ至リ大ニ世人ノ容ルゝ所トナリ從ヒテ其勢ヲ

妬ムモノアリ讒シテ曰ク氏ハ国家固有ノ神教ヲ誹シ一己ノ私見ニヨリテ立テタル神授ヲ組織シテ国風ヲ破リ子弟ノ教育ヲ乱スト其讒者ノ主ナルモノハメレタス (Meletus) アニタス (Anytus) リコ (Lyco) ナリ遂ニ判審ノ上死罪ノ宣告ヲ受ケタリ氏若シ弁護スルトキハ【23】其死ヲ免カルコトヲ得ヘシト雖モ氏敢テ之ヲ為サズ又氏ニ勸メテ隱遁セシムルモ氏亦之ヲ容レス氏ハ安ンシテ其宣告ヲ受ケ自座トシテ毒藥ヲ服シ遠逝セリ蓋シ氏其道ノ為メニ思フ所アレハナリ氏ノ死後氏ノ哲学一層世界ノ信用ヲ得又政府モ其罪ヲ全ク冤ナルコトヲ知ルモ如何トモ難解、氏ノ死ハ一身ノ為メノ不幸、道ノ為メノ幸ナリ [Erdm.84]

○氏ノ学説并研究法 [Erdm.80]

氏ハ自ら書ヲ著サザルヲ以テ我々カ氏ノ哲学ヲ知ルハ其門弟「ゼノフォン」「プラトー」兩人ノ著書ニヨル

氏ハ其当時ノ詭弁学者ノ説ヲ聞キ又之レト交ハリシヲ以テ其説ニ本キテ一派ノ新哲学ヲ起セシハ明カナリ其前ノ物理学者ノ説ヲ書ニツイテ知りタルモ氏ハ之ヲ無用ノ論トシ畢竟宇宙ノ【124】問題ハ實際上何ニモ益ナシ且ツ其論種々ニ分ルヽヲ見レハ真理ニ合セサルコト亦明カナリト云ヒテ宇宙論ヲ排セリ而シテ詭弁論者ノ説モ空論ノミニテ實際ニ適セス其道徳論モ空論ヨリ出テタル道徳ナレバ是レ亦實際上其用ナシ依テ實際ニ適シ人間ノ安全ヲ期スル道徳学ヲ起セリ是レ氏ノ改良ナリ故ニ其哲学ハ詭弁学ヲ一変シテ起リタルモノナリ

詭弁学者ハ論理一方ニ寄りタルヲ以テ其論往々事實ニ適セス且ツ一定不変ノ真理天則アルコトヲ排スル懷疑ヲ唱ヘルニ至レリ

氏ハ之ヲ変シテ事實ニ適合スル道徳ヲ講シ一定ノ論理ヲ説クニ至レリ而シテ氏ハ實際一方ニ偏スル論理ヲ説クニアラス道理ニ基キタル倫理ヲ【125】講スルニアリ故ニ其道徳ハ智識ノ本ノ道徳ナリ

氏ノ哲学研究法ハ帰納ノ風アリト云フモ広ク試験経験ヲ施スニアラス唯、世間一般ニ経験シテ知ル所ノモノ又

一般ニ真トシテ証スル所ノモノヲ用フルノミ

而シテ別ニ論理学トシテ講述セザリキ

○氏ノ哲学組織 (Virtue can be taught) [Erdm. 82]

氏ノ哲学ノ要点ハ知徳ニ体論ナリ氏ノ説ク所ニヨルニ人ヲシテ正義公道ヲ守リシムルニハ先ツ正義公道ノ何タルヲ知ラシメサルヘカラス之ヲ知ラサルハ之ヲ守ルヘカラス既ニ之ヲ知レハ人情トシテ不正義ヲ行フコト能ハサルヘシ如何ナレハ誰ニテモ好テ悪ヲナスモノナケレハナリ故ニ德行ノ人物ヲ作ラント欲セハ必ス先ツ其人ヲシテ善ノ善タル所以ヲ明知セシメサルヘカラス、徳ハ教育ニヨリテ生シ徳ハ知識【126】ノ中ニ存スト云フ1危難ニ際シテ如何ニ身ヲ処スヘキカヲ知ルモノヲ以テ勇アル人トシ2神ニ対シテ如何様ニ啓信スヘキヲ知ルモノハ信神家ナリ3他人ニ向テ如何ニ尽クスヘキヲ知ルモノハ君子ナリ故ニ諸徳ハ皆知識ヲ以テ基礎トス即チ其基礎一ナリ且ツ衆人ノ道德ノ基本モ唯一アルノミ即チ知識是レナリ而シテ氏ハ道德ノ原理ヲ深ク学理的ニ講究シタルニアラス故ニ其論中明瞭ナラサルモノアリ善ヲ論スルニモ其定義判明ナラス義ト善ト用ハ同一ノ關係アルモノトナセリ学理上ノ研究ニハ欠点ナキニアラサルモ實際上ノ道德トシテハ純全ナルモノナリ衣食住ノ制限ヲ説キ虚飾贅沢ヲ戒メ外部ノ美ヨリハ内部ノ美即チ教育ヲ重ンジ下等ノ欲情ヲ制止シ仁義ヲ重ンセリ

「欄外上段に 自知ヲ以テ道德ノ始メトス悪ハ無知ヨリ起ルト云フ且ツ衆人ノ道德ノ本ハ自ラ知り自ラ克己規制スルヨリ起ル」【127】

氏ノ政治ヲ説クハ国家ニ従順スルヲ人ノ国家ニ対スル務トシ国政ヲ掌握スルモノハ君主トナルニ要スル所ノ知識ヲ有スルモノヲ用スヘシ而シテ君主タルモノハ人民ノ幸福ヲ進ムルヲ以テ目的トセサルヘカラス氏ハ人民一般ノ公撰ニヨリテ官吏ヲ定スルヲ不可トナセリ又氏ハ希臘人ノ風習ニ反対シ工商ノ賤業ニアラサルコトヲ説ケリ

氏ハ二種ノ有神論者ナリ其有神ヲ唱フルハ氏ノ道德論ヲ立ツルニ必要ナル点アルニヨル氏ノ神ハ人民一般ニ唱フル所ノモノト異ニシテ一般ニ信スルモノハ多神ナレハ其多神遂ニ一体ニ歸スヘシトシテ多神ノ上一神ヲ置キ一神ト多神トヲ區別セリ其一神タルヤ世界創造者并主宰者トシ其世界并人類ヲ主宰スルハ恰モ人ノ精神カ身体ヲ支配スルカ如シ而シテ人ノ【128】精神ハ神ニ關係シテ存シ神ト共ニ不滅ナリトス徳ハ人ノ心ニ存スルモノニシテ其本源ハ即チ神ナリ蓋シ人其徳ノ完全無欠ナルニ至レハ即チ神ニ達スルナリ故ニ神ニ對シテ敬礼ヲナスハ人ノ義務公道ナリトス

此世界ニアリテ我人ノ用トナルモノハ皆神ノ造出セルモノトス且ツ宇宙總体ヲ支配スルモノトナス

○瑣〔ソクラテス〕氏末派 [Erdm.86]

瑣氏ノ直門ヨリ出テタル人々ニシテ師ノ智徳論即智識ト道德兩全論ノ一辺ヲ取りタルモノト全体ヲ伝ヘタルモノ、兩派アリ其前者ヲ小学派ト稱シ後ヲ大学派ト稱ス

○小学派即チ一辺ヲ取りタルモノ【129】

之レニ二種アリ各派亦二ツニ分レ惣シテ四門トナル

第一種 智識一辺ヲ講述セルモノ〔エリヤチック〕ト瑣氏ヲ混和セルモノ

(甲) Megaric or Eriatic School of Euclid

(乙) Elean School of Phaedo

第二種 道德一辺ヲ講述セルモノ〔ソフィズム〕ト瑣氏ヲ混和セントス

(甲) Cynic School of Antisthenes

(N) Hedonic or Cyrenaic school of Aristippus

此小学派ニ対シテ弗拉的〔プラトン〕ノ学派ヲ大学派ト称ス氏ハ智徳ニ辺ヲ講述シ且ツ之ヲ敷衍セルニヨル
此外瑣氏ノ直門ニ Xenophon & Aeschines エスキニース 等ノ諸氏アルモ学派ヲナスニ至ラス

ゼノフォン氏ハ紀元前四百四十四年頃ニ生レ同三百五十四年【130】頃ニ死ス（寿凡ソ九十年也）瑣氏ノ老弟（老
門弟）ナリ其人ノ著書ニヨリテ我々ハ瑣氏ノ学ヲ知り又氏ノ一身上ノ知徳ニ於テ称スヘキモノアリ并ニ瑣氏ノ学
ヲ保存信受スルニ功アリシモ一家ノ学派ヲ開キタル人ニアラス

エスキニース氏モ瑣氏ノ直門ニシテ師ノ説ヲ伝述セルモ一派ノ学ヲ開キタルモノニアラス（紀元前三百五十年頃
世上ニ名ヲナセシ人ナリ）

○小学派

第一種、第一派「メガラ」学派 Euclid or Euclides

派祖ヲユークリッドト云フメガラノ地ニ生ル（生年不詳）雅典ニユキテ瑣氏ノ門弟トナル師ノ没後故里ニ歸リテ
其学ヲ伝ヘ一派ノ祖トナル紀元前四百二十四年頃ニ死ス

氏ニツギテ其派ノ教師タルモノ Ichthyos イクテヤス 氏ナリ【131】

此学派ノ説ハ瑣氏ノ知徳論中知識上ニテ道徳ノ原理ヲ論シ實際上ノ道徳ヲ説トス空理上ノ原理ヲ説ケリ其論「エ
リヤチック」ノ唯一論ト瑣氏ノ道徳論ヲ混和シタルモノ也「エリヤチック」ハ万物ノ上ニ唯一ヲ論シ此学派ハ道
徳上ニ唯一ヲ論シ道徳上唯一ノ善アルノミ徳ト云ヒ理ト云ヒ智ト云フモ皆此唯一ニ与フル仮名ナリ此善ヲ離レテ
外ニ種々ノ善アリト思フハ迷見ニシテ善ニ反シタルモノ真ニ存スルニアラス之ヲ真ニ存スルカ如ク見ルモ亦外見

ニ外ナラス故ニ唯一善独リ真ニ存スルノミ徳ト云フモ此善ニ外ナラサレハ唯一ノ徳アルノミ種々ノ徳アルヲ見ルハ此徳ノ変形外表ニ過キス

第一種第二派「エリヤン」学派【132】

派祖ヲフェード [Phaedo] ト云フエリスノ人ナリ瑣氏ノ門弟ナリ其人ノ学理ヲ知ルニ由ナシト雖モ「メガラ」ト大同小異ナラン

氏ハ瑣氏ノ愛弟ニシテ紀元前四百年代ノ人ナリ瑣氏没後故山ニ歸リテ学校ヲ開キ「メガラ」ニ近キ説ヲ講セリ

第二種第一派 セニック [Cynics] 学派 知徳論中ノ道徳ヲ論述スル派ナリ

派祖ヲアンチスゼニス [Antisthenes] ト云フ氏ハ雅典人ニシテ瑣氏ノ門ニ入ル始メテ詭弁学者ゴルジヤス氏ニツイテ教育ヲ受ケ自ラ人ヲ教授セシカ其後瑣氏ヲ見ルニ及ヒテ深く其学ニ歸依シ其門派ノ一祖トナル氏ハ弗拉的ヨリ年長ナリシモ紀元前三百七十一年迄存命セリト云フ氏ハ師ノ没後セノサルジスト名クル学校ニ於テ教授セルヲ以テセニックノ名アリ (Cynosarges) 【133】

氏ノ門弟中其名ノ世間ニ知ラレタルモノダイヲゼニス [Diogenes of Sinope] 氏ナリ氏ハシノップノ人ニシテ其後雅典ニ住シ紀元前三百二十三年高齡ヲ以テ死セリ其門弟ニクラテスト名クルモノアリ (Sinope 地名) (Crates 人名) [Erdm.92]

氏ノ道徳論ハ理論ヲステ、實際ヲ研ク知識ヲ不用ナルモノトシ高尚ノ學問及ヒ数学物理学等ヲ賤ムノ風アリ唯、勇健耐忍ヲ主トシ徳ノ外ニ善トスヘキモノナク一身上ノ快樂ハ之ヲ惡トシ克己制欲ヲ以テ徳ノ要素トナス徳ハ教ユヘキモノトシ一タヒ得レハ永世失ハサルモノトス瑣氏ノ学中ノ其實際上ノ勢力(意力)ヲ取りタル道徳ナリ故ニ實際的ナリ(實際上ノ克己制欲ヲ以テ道徳ヲ組織ス)其説ヲ見ルニ徳ハ善ニシテ不徳ハ惡ナリ其他ハ不善不惡

ナリ【134】而シテ徳ハ心内知識ノ上ニ存スルノミ其外ニ存スル財産、名譽、自由、健全、生命其物モ皆善ニアラス貧、恥、奴隸、疾病、死其物ハ不善ニアラス快樂ハ決シテ善ナラス勞苦決シテ惡ナラス何者ハ「ママ」快樂ハ人ヲ破リ勞苦ハ人ヲシテ徳ヲ得セシム

「アンチスセニス」氏曰ク快樂ニ耽ケルヨリハ寧ロ狂セヨ氏ノ説ノ瓊氏ニ類スルハ徳ト知識トノ關係ヲ許シ徳ハ一ナリ教ユヘキモノナリト云フニアリ而シテ其知ト意力トヲ接合シテ実行上ノ道德ヲ立テタリ而シテ實際上ニテモ此部ノ需用ヨリ自由獨立ヲ得、決シテ衣食住ニ汲々懸念セサルヲ本トス人ヲ分チテ賢愚ノ二種トナシ賢ハ幸福ニシテ愚ハ不幸ナリ賢ノ徳一タヒ得レハ二ヒ失ハス住居等ハ如何ニ陋ナルモ之ヲ厭ハス粗食敝衣以テ足レリトス唯其務ムル所憂患【135】艱難ニ応シテ蓋其行ヲ守リ其心ヲ固クスルニアリ又死ノ如キモ之ヲ棄ツルヲ以テ更ニ意ニ介セサルコトヲ務ム又妻子ヲ棄テ乞食（浪人）ヲ以テ日ヲ送ルヲ常トスダイオセニス氏ハ婦人共有論ヲ唱ヘリ又賢人タルモノ自由ヲ得ルモ奴トナルモ更ニ意トセス何者ハ形ノ上ニテ奴トナルモ賢人ハ其心常ニ自由ヲ得レハナリ

此学派ニテハ人民一般ニ用フル所ノ宗教ニ反對シ一般ニハ多神教ヲ奉スルニ此諸氏ハ一神ヲ立テ不可見のモノトス又神ノ親友タルモノハ徳ノミナレハ徳ヲ尊崇スルハ神ヲ敬信スルモノナリト云フ堂宇供養、祈禱等ハ全ク無用ノモノナリトシテ之ヲ賤ム

第二種第二派「セレネーク」〔キュレネ〕派【136】

派祖ヲアリスチパス〔Aristippus〕ト云フセレン〔キュレネ〕ノ人ナリ紀元前四百年頃ノ人ナリ弗拉的ヨリ稍々長年ナリト云フ嘗テ其古里ニアルヤ詭弁家プラタゴラス氏ノ説ヲ聞キ其後雅典ニ到リ瓊氏ニ就キ其門人トナリ師死後セレン府ニ學校ヲ開キ其女子アリート并ニアンチペートル〔Anipater〕二人其門ニ連ナリ「アリート」ハ其子

ニ伝ヘリト云フ其他セオドラス〔Theodorus〕ヘゲシヤス〔Hegesias〕アニセリス〔Anniceris〕等ノ人皆此派ニ属ス

○此学派ノ唱フル所ハ「セニック」ノ如ク理論上ノ道德ニアラスシテ實際ノ道德ナリ数学、物理学等ハ實際上ニ其用ナシト云フ其知識學問ヲ用フルハ道德上實際ニ必要ナル迄ニ止マル而シテ氏ノ道德論ハ感覺上ニ快樂ト苦痛ト不苦不樂ノ三種ヲ分チ我人ノ願求スヘキハ快樂ノミ善ト樂トヲ同一視シ苦ト惡ト同一トナス我々ノ目的ハ成ルヘク多量ノ快樂ヲ得ルニアリトス其快樂【137】説ハ「エピキュラス」ヨリハ一層直説ニシテ現時目前ノ快樂ヲ主トス未來過去ハ我カ関スル所ニアラストス又其快樂ヲ生スル事物并方法等ハ如何ナルモ更ニ問フ所ニアラストス氏ノ説ヲ見ルニ快樂一方ノ論ニシテ瑣氏ニ反スルカ如シト雖モ其實行ニ至リテハ瑣氏ノ門弟タルヲ免レス氏ハ他人ニ對シテ深切ヲ尽クス自身ニ對シテ願欲ヲ制シ自由ヲ求メ知識ヲ愛シ瑣氏ヲ尊重スルニ至リテ知ルヘシ蓋シ瑣氏ノ學ヲ推究シ其一場ニ偏スルニ至リシニヨル而シテ道德ヲ修ムルニ必要ナル知識教育ヲ取り自知自裁ノ力ヲ學識ニ取ルニ至リテハ瑣氏ニ合一スルナリ

○大学派

○弗拉的〔Platon〕學【138】

史伝○紀元前四百二十七年ニ生レ三百四十七年ニ死ス寿八十二歳〔Erdm.130〕

氏ハ雅典ノ人ナリ其父ヲアリストト云ヒ其母ヲペリクシヨント云フ〔Ariston & Perictione〕氏ノ名初メハアリストークルス〔Aristocles〕ト云フ年二十ニシテ初メテ瑣氏ノ門ニ入り（四百七年）其門下ニアルコト凡ソ八年（三百九十九年迄）間ニシテ瑣氏ノ學ノ深意ヲ得タルモノ独リ氏アルノミ且ツ氏カ瑣氏以前ノ哲學ヲ研究シタルモ此

時ニアリシ三百九十九年師ノ毒死セルニ当リ氏ハ連座セラレンコトヲ恐レ同門ノ者ト共ニ遁レテメガラニ到リユークリッドニ面ス已ニシテセレン〔Cyrene〕埃及（及ヒ小亜細亞）ノ地方ニ遊ヒ歸リテ雅典ニ止マルコト凡ソ八年間ヲ著述ニ従事シ傍ラ教授ヲ施セリ已ニシテ又（紀元前三百八十八年頃）伊太利并シシリイ〔Sicily〕ニ遊ヘリ當時其年凡ソ四十歳ナリシト云フ已ニシテ雅典ニ歸リ私立学校ヲ起シ終身哲学【139】教授ヲ取り其ノ志ヲ決スアカデミーノ林荘ノ中ニ学校ヲ設ケ人ヲ教授セシハ此ヨリ始マル蓋シ氏ハ此前ニハ政事上ニ長ス所アリシモ其意ヲ達スル能ハス故ニ始メテ学校教育ニ従事スルコトニ決セリ已ニシテ又思フ所アリテ一時雅典ヲ去リシモ再ヒ歸リテ教授ノ勞ヲ取り漫遊スル八十年ノ寿ヲ得テ終ル

著書○氏ハ著書ニ従事セシハ五十年間以上ナラン瑣氏ノ死ノ前後ヨリ其死スル迄此事ニ従事セリ故ニ其著述トシテ今日ニ伝フルモノ甚タ多シ但シ其中ニ正偽相混シ其真ヲ判定スルコト甚タ難シ〔Erdm. 97〕

〔氏ノ学ハ三期ニ分ル 第一ハ門弟ノ時代 第二ハ旅行時代 第三ハ教授時代〕

氏ノ学ノ大要

瑣氏ノ学ヲ系トシ其欠点ヲ補フタルモノ也道德ハ知識ノ上ニ成立シ哲学ニヨリテ教授スヘキモノトナスト瑣氏ニ異ナルコトナシ唯々其知識ニ属スル部分ヲ組織アルモノニ組立タルナリ之ヲナス為ニ【140】瑣氏以前ノ学ヲ通覽シ遂ニ瑣氏ノ学ヨリ一層高等ニ位スヘキ大系ヲナセリ倫理学ノミナラス論理、物理学ニ深く理想本体ノ哲学ヲ起ス故ニ其哲学ハ

論理学 Dialectic（理想論）

物理学 Physics

倫理学 Ethics

氏ハ感覺概念理想ヲ論シテ感覺ハ變化スルモノニシテ真ヲ知ル能ハス概念モ亦然リトス故ニ感覺ヲ去リテ理想ニ達スルヲ目的トス五官ノ感覺ヲ去リテ其以上二人ヲ高ムルヲ以テ目的トス之ヲ達スルニハ教育学問ヲ必要ナリトナス

〔瑣氏ノ哲学ニエリヤ学派（是分ハメカラヨリ多ク得タルナラン）及ヒヒサゴラス学派ヲ交ヘタルナラン〕

第一 理想論【141】

感覺ノ外ニ理想アリ外物ハ感覺上ノ現象ノ如シ實體アルヲ説ク感覺ハ變化セリ變化ナキ實體ハ理想ニヨリテ知り理想ニヨリテ成立ス

變化ノ中ニアリシ變化ナリ

拒絶ノ中ニアリシ唯一ナリ

物ノ實體ハ理想ニヨリテノミ知ルヘキモノトシ此實體ヲ論スルモノヲ物理学トス

而シテ氏ハ唯一ノ外ニ万象アルコトヲ評シ万象ハ唯一ニアリテ生スルコトヲ説ク其唯一ハ理想ノ本体即チ神ナリ

Being

Idea

Knowledge

而シテ万象中ニ先ニ理想アリ其万差ノ理想ノ本源【142】ハ唯一ノ理想ナリ之ヲ神トスルモ personal Gods ニ非ス
○弗氏ノ学ハ判然タル分類ヲ見サルモ要スルニ左ノ三部分ヨリ成ル

Logic = Dialectic = Science of absolute being & ideas

physics = changeable, not unchangeable

ethics = not absolute idea

第一、理想学、心ノ様ニテハ感覺概念理想トシテ感覺ノ本源ニハ不変ノ思想ナルヘシ之ヲ——ト云フ次ニ物ノ様ニテ物ハ不断变化スルモノナレハ其本体ニ不変ノモノナカルヘカラス変化ハ外象ニ過キス其不変ノ本体ヲ——ト云フ

Logic = true, physic = beautiful, ethics = good [Erdm. 145]

物界ハ理想ヨリ発生シタルト説クモ其関係不明ナリ

「氏ノ論理学ニ分離法総合法ノ二種ヲ説ク」

「○論理学ニテハ感覺ヲ排セリ感覺ヲ主張スレハ人ハ禽獸ヲ分ツヘカラス二者同一ナリ且ツ詭弁派ノ撞着ヲ論セリ」【143】

第二 物界 nature

world - soul ト名クルモノアリテ其力ニヨリテ物ヲ形成スルニ至ル而シテ其 soul ハ理想ノ本体即チ神ヨリ生ス
ハシ

world soul is a mean bet [ween], the ideas & corporeal existence, the medium which matter & formed, individuals by animated & governed

一箇人ノ精神ハ (individual soul) ハ世界ノ精神ノ一部分ナリ其部分物質間ニ宿リ人身ヲ構成スルトキハ其本体ハ神聖、不滅ノモノナレドモ物質ノ性質ヲ帯ヒテ不神生【144】滅スルモノトナリ欲念等モ起ルナリ然レトモ其精

神ノ本体神聖ナルヲ以テ欲念ノ中ニ他念アリテ悪心ヲ制シテ善道ヲ求メ不滅純全ニ向ハントスルナリ然シテ其目的ヲ達スルハ肉身ヲ離レタル時ニアリ若シ其食生活中肉身ノ欲ト混シテ純全ナラザルトキハ更ニ他ノ生活ヲ取り自由ヲ得ル不能、生活中純善ナルモノハ死後自由ヲ得ル也「ピサゴラス」ノ輪廻論ニ合スル也【145】

○スター [Stoa]

此学派ハキニツクトハ異ナレドモ半分ニ似タル所ナリ

此世界ニアリテ種々不幸ニ会シ事情ニ転セラレ其法ヲ備フカ如キコトアラハ寧ロ自殺シテ此世界ヲ去ルニ如カストナス

天地一理ヲ唱ヘ人類ノ如キ道理的動物ハ遠近ノ別ナク皆朋友同胞ナレハ齊ク相愛セサルヘカラス奴隸ノ如キモ同權ナリ敵モ人間タル一点ヨリハ之ヲ救助セサルヘカラス也

神(宗教ハ)運命ト法ニ従順スルニアリトス【146】

七賢人

1. Thales (星ヲ数ヘテ) 2. Pythagoras (転生論) 3. Heraclitus (泣儒)

4. Democritus 笑儒 5. Empedocles (火説ニ入ル)

6. Socrates 7. Diogenes 犬儒

アオラニツク学派 [Inonia]

紀元前五百年代ニ起リ其説四百年代ニアリテ伝フルモノアリ

其一人ハ Hippo ナリ

氏ハ水（寧口淡）ヲ以テ世界ノ実体トセリ動物ニ水氣ヲ要スルヨリ想定セシナラン心臟ハ種中ノ水氣ナリト云フ

水ヨリ火ヲ生シ火水勝テ世界ヲ生ス【147】

故ニ氏ハターレス氏ノ説ヲ繼ク也

次ニアナキシメネス氏ハ説ヲ繼クモノイデユース Idaeus 氏ナリ

氏ハ空氣ヲ原質ト云ハム

次ニダイオセネス（セニツク派ノ犬儒ト同名異人也）

Diogenes of Apollonia 紀元前四百年代ノ人

氏ハアナキサゴラス氏ノ説ニ抗シテアナキシメネス氏ノ説ヲ取り前者ハ精神論ニ反シテ空氣論ヲ取り前者ハ世界ノ無数ノ元子ヨリ成來セル論ニ反シテ一元一素論ヲ取ル

氏ノ所謂空氣ハ思想的ノ体ナリ無限不生ノ精氣ニシテ一切ノ事物ヲ造出シ物心ノ原種ニシテ又之ヲ司配スル者ナリトナス故ニ事物ハ皆其變形ナリトナス其變形ハ集ト散ト兩作用ヨリ起ル集ハ即チ冷スルヨリ、散ハ熱スルヨリ起ル太初【148】熱力ノ變動ニヨリテ其離散シテ輕キモノハ昇リテ天トナリ集合シテ重キモノハ降りテ地トナリ天地大成又地ノ上ニモ同キ道理アリテ動植人類其形ヲ現スルニ至レリ人ノ精神ハ太陽ノ如ク熱カラナル大氣ヨリハ一層熱シト云フ人獸ノ別モ同一空氣ノ事情異ナルニ応シテ其別アリト云フ

ピタゴラス氏

Pythagoras, the [ピタ] of Mnesarchus ハ Samos ノ地ニ生ル其先祖ハフリユースヨリ其地ニ転住セリ

(Philus) he was born about 580 - 570 B.C. [Erdm.28]

Came to Italy about 540 - 530 B.C. & died タルハ五百年代ノ末カ四百年代ノ初ナリ氏ノ何レニ学ヒタルヤ不明或ハ云ク阿弗利加亜細亜諸邦ニ学ヒタリト【149】其中埃及ニ学ヒタリトノ説ハ稍信スヘシ

又氏ハアナキシマンデルノ門弟ナリト云フ説アルモ難信唯アナ氏ノ天文説氏ヲ動セシ位ノコトナラン歸リテ以太利ノ地内ニアル希臘殖民地ニ学会ヲ開ケリ其地ノクロトナノ部内ニアリ(Croton)門人多ク此ニ集ル其学生ノ嚴肅ノ規則ヲ守リ共有財産ヲ用ヒ肉食ヲ禁シ死類ノ服ヲ禁セリ輪廻転生ヲ唱ヘリ

輪廻ノコト(仏教中ノ)

其学派ノ規律ハ大ニ品行道德改良ニ功アリ

氏ハ又理学ヲ振起スルニ功アリキ其学生ハ等ク数学ヲ論究セリ

又氏ノ学ハ政治上ニ関係アリキ氏ハ一箇人ハ社【150】会全体ニ服従スヘキ道理ヲ論シ貴族政治ヲ主張セリ其論ノ為メニ氏ハクロトナノ地ニ永住スルコト能ハスシテメタポンタム(以太利部内ノ地名 Metapontum)ニ転住セリ其地ニテ死ス其後クロトナノ学舎ハ焼払ハルヽニ至リ遂ニピタ氏門弟ニシテ以太利地方ニアルモノハ或ハ死刑ニ処セラレ或ハ他方ニ遁去セリ其遁亡人中ニ名アルモノハ Philolaus & Lysisノ兩人ナリ共ニセーブスニアリ(Thebes)

其後此学派ノ人ニテ名アルモノハ

Eurytus, a disciple of the former (Philolaus)

Cleinas

Archytas 【151】

○比多氏ノ哲学

氏ハ以為ラク人生并世界ハ順序秩序タル最多接合ノ宇宙体ナリト整然トシテ乱レサル完体ナリ其証ハ天体運行ノ規則正キヲ見テ然ヘシ此思想ハ数学上ヨリ来レリ数ハ至テ順序正キモノニシテ世界ハ数ニヨリテ成立シ数ニヨリテ支配ヲ受クルモノナルヘシ

数ハ諸事物ノ真相ニシテ一物トシテ数ヨリ成立セザルハナシ

数ニ奇偶兩種アリ他数ハ皆此複合ナリ

奇数ハ兩分スヘカル限界ニ達シタルモノナリ偶数ハ反之故ニ奇数ハ有限ナリ偶数ハ無限ナリ之ヲ諸数ノ基数トナス

希臘ニテ有限ハ無限ヨリ一層完全ナルモノトナスヲ以テ奇数ハ偶数ヨリ善ナルモ幸福ナルモノトス故ニ善惡禍福ノ二元万事万物ニワタリテ存スル也【152】

故ニ数二十種ノ反対ヲ立ツルニ至ル（此事ハ多分後世ニ起リシコトナラン蓋シ Philolaus ノ如キ人ヨリ起リシナラン）

有限、無限 奇、遇

一、多右、左

男、女静、動

直、曲明、闇

善、悪方、楯 square & oblong

此反対ヲ結合スル原理ハ Harmony 整一即チ衆多中ノ統一若クハ不和中ノ和合

次ニ物理学

氏ハ数ヲ以テ物ノ真相トナセシヲ以テ宇宙解釈ハスヘテ数ニ本ク

世界ハ一ヨリ始マル其一ハ即世界ノ中心ノ大ナリ是ニ由テ世界ノ【153】中心ハ大ナリ其周囲ニ地球并天体諸星ノ運動スルヲ見ル

氏ハ地球ノ回転ニヨリテ昼夜ヲナス道理ヲ示シタル最初ノ人ナリ

然シ此天体説ハ其後 Philolaus 等ニヨリテ明カナリ氏ハ後世ニ ピタゴラス 氏ノ説ヲ伝ヘタルモノナリ氏ニヨリテ敷衍セラレタルモノ多シ

次ニ宗教并道德

輪廻説ヲ立ツ之レニヨリテ道德宗教ヲ説ク也

次ニ後世ノ学派

其後 ピタゴラス 氏ノ説ト他説ト相混シタルモノアリ

Hippasus (about 450 B.C.) ピタゴラス ノ宇宙説トヘラクリタスノ原理ヲ混同セルモノナリ

Ephantus (紀元第四世紀ノ初年頃) ピ氏ト デモクリタス氏原子説ヲ合シタルモノナリ【154】

○エリヤチック学派

初祖 Xenophon ゼイフォニス 氏ハアイオニヤ人ニシテ其後以太利地方へ移住セシコトアリ最初詩人トナリテ希臘諸方ヲ遊歴シ最後ニエリヤノ地ニ住居ヲ止メ學生ヲ養ヒ其地ニテ死セリ也

五七六〜二年ニ生レ四八〇ニ死ス

一説ニ曰ク氏ハアナキシマンデル氏ノ門弟ナリト

氏ノ哲学説ハ其詩中ニ散見セリ

氏ハ多神説ヲ排シ是レ神ノ純全ナルモノニアラス

神ハ単一ナリ諸眼諸耳諸想ヲ完備シ一切万物ヲ支配ス

此体ト世界ト合同スト云フ而シテ神ハ不変不滅ナリ故ニ世界モ不滅ナリ宇宙間ノ天地ニ至リテハ地ハ水中ヨリ成
リ亦水中ニ沈ム人間モ地ト共ニ一タヒ滅絶スヘシ而シテ地モ人モ再ヒ形成スヘシ日并星ハ火塊ナリト云フ【155】
the burning mass of vapour

ゼノファネス氏ハ天神ノ唯一不滅且ツ宇宙ト同体ナルコトヲ説ケリ

パーメニデス Parmenides

氏ハ一歩進テ最善ノ諸象ハ真ナラサルコトヲ説ク

五二〇〜五一五 BC 年生

氏ハヒサコラス学派ノ教育ヲ受ケ其行ヲ立テシモ学説ニ至リテハゼノファネス氏ヲ取ル

アイン有 ハ無始無終ナリ天ヨリ来ラス亦天ニ帰ラス

思想ハ有ト別ナルニアラス有ニツイテノ思想ハ真理ナリ

感覺ハ誤謬ノ本源ナリ

有ノミ存ス然ルニ人之ニ対シテ無ヲ説ク是ニ於テ二元論也

光暗昼夜ノ如シ【156】

次ニ

Zeno & Melissus

ゼノハパーメニデス門弟ナリ氏ハ論弁学 Dialectic ノ始祖ナリ

(1) 単一主義ヲ取り物ニ数多ノ種類ナシト云フ

(2) 又運動ナシト云フ

第一ニ曰く

チェラー希臘哲学史 [Eduard Zeller, Outlines of the History of Greek Philosophy. London 1886] 六十四ページヲ見シ也〔六三ページ〕

○ Melissus of Damos

氏ハパーネデス〔ママ〕氏ノ説ヲ取り有体ノ無限不滅ヲ論ス

氏ハ變化運動ナキヲ主唱セリ又感覺ヲ排斥セリ

○ ヘラクリタス氏 Heraclitus an Ephesian

氏ハエフェシヤン人ニシテ貴族ノ家ニ生ルパーメニデス氏ト同時代【157】ナリト云フ紀元前五百三十五年頃ニ生レ四百七十五年頃ニ死ス氏ハ深慮セル人ニシテ別ニ一家ヲナスニ至レリ其著書ニ万有論 (Concerning Nature) アレトモ其中一小部分ノミ今日ニ存セリ其文章実ニ不明ニシテ難解故ニ後世氏ヲ学ンテ obscure 晦澁学者ト名ク

氏ノ哲学

氏ハエリヤチック学者カ単一ト衆多トノ説明尽サハル所アルヲ以テ一家ノ説ヲナスエリヤチックハ単一方ヲ原理ト立ツルヲ以テ此困難アレハ氏ハ一多共存説ヲ唱ヘリ
之ヲ転化説ト名ク

氏ハ万有ヨリ研究ヲ始メ其變々化々スルハ世界中ニ無變化ノ一原理アルニヨルト考ヘ不斷變化シテ新形ヲ構【158】造スルモノト定ム故ニ曰ク一物トシテ静止スルモノナク

恒久ナルモノナシ諸物皆一物ヨリ他物ニ変移スルナリ

而シテ其物一物ヨリ成リ万有其体一ナリトナル其物ヲ火トナス

此世界ハ神ノ所造ニアラス人類ノ造出ニアラス無始ヨリ活火アリテ今日ニ現スル也

氏ハ此火ニツイテ火焰ノミヲ意味スルニアラスシテ温暖蒸氣ヲモ義トスル也

万物火ヨリ生シテ又其火ニ帰スルモノトナス恰モ金界（ママ）ハ金ヨリ成リテ亦金ニ帰スルカ如シ

世界中一物トシテ恒久ナルモノナキモ變化シテ止マサルト云フニ至リテハ到ル処然ラサルハナシ【159】

死ニヨリ生ヲ生シ生ヨリ死ヲ生ス

故ニ氏ハ抗争ストライクヲ事物ノ父ト唱ヘリ事物互ニ抗争分離シテ他ノ結合ヲ成ス其不和アリテ始メテ和アリテ和ヲナサントスルニハ不和ヲ用ヒサルヘカラス世界ノ統一ハ此不和抗争ヨリ成ル

like Lyre & bow

○火ヨリ水ヲ生シ水ヨリ地ヲ生シテ世界現出シ

地變シテ水トナリ水變シテ火トナリテ世界其元ニ帰ス

其第一ハ降化其第二ハ昇化ナリ此二化一ナリトス

此變化ハスヘテノ部分ニ於テ存セリ也

氏ハ古来ノ伝説ヲ引キ太陽ハ毎日新タニ現スルナリ前日ノ太陽ハ其夕滅火シ夜中海中ノ蒸発氣相集リテ新ニ太陽ヲ造出スト云フカ如ク世界モ火ヨリ出テ、火ニ帰シ更ニ新ニ世【160】界ヲ構成シ蓋シ無限無終ナリ

成住懷空四却説ニ同シ

人間ノ靈魂モ此火ヨリ成ル火ノ純全ナルモノナリ乾キタル靈魂ハ最良最賢ノモノナリ

故ニ靈魂モ變化シテ止マサルモノナリ其火ハ体外ノ空氣光線ヨリ其材料ヲ取り感覺ハ呼吸トノ媒介ニヨリテ体内ニ入ルナリ而シテ精神ヲ養成シテ上等ニ進ムモノ、如ク云ヘリ

氏ハ實際上ニテハ道理感覺トノ二種ヲ分チ感覺ハ誤リタルヲ以テ道理ニ從フヘシト云フナリ

是レヨリエムベトクレスノ説

○エムペドークル氏【161】(Erdm.54)

氏ハアグリゼンタムノ人ナリ (Agrigentum) 紀元前四百九十五年頃ニ生レ四百三十拾五年頃ニ死ス

氏ノ死ニツイテハ奇説アリエトナノ噴口ニ入りテ死セリト証シ晚年人望ヲ失シ放逐人トナリテ死セシナラン

氏ノ詩二篇今日ニ伝ハレリ其中ニ教理ヲ説示セリ

氏ノ物理上ノ説ハパーメニデス氏ト其反對論者ヘラクリトス等ノ説ヲ調和スルニアリ氏ハヘラクリタスノ變化説

ヲ變シテ離合ノ兩作用ニ歸シ万物ハ一元ニアラスシテ諸元ヨリ成ルトナセリ

元素論ハ氏ヲ始メトス氏ノ之ヲ物元 *roots of all* トナセリ而シテ地水火風ノ四元ヲ以テ物元トナセリ此四元ハ決シテ各其形ヲ變シテ他質ヲ有スベカラス又二元相合シテ第三元ヲ化生スヘカラス【162】都テノ物質中ニ四元各小部

分間ノ存スル也其諸元互ニ相合シ相離ル、ヲ以テ其間ニ物力アリテ作用ヲ現セサルヘカラス集合方ハ之ヲ愛力ト

云ヒ離散ノ方ハ之ヲ憎力ト云フ

斯クシテ世界ハ變化シテ際涯ナキモノナリ其愛力ニヨリテ相合スルトキハ世界ハ球円体ノモノトナルヘシ之ヲ完

全ノ有様トス何者其中ニ憎力滅絶スレハナリ若シ憎力一方作用ヲ呈スレハ世界ノ諸元皆相離レテ破壊スヘシ其兩

極端ノ間ニ一個一個ノ事物ノ昇沈感懷アリ

世界ノ元初ハ愛力其中央ニ起リ愛憎ニ力相会シテ回轉運動ヲ生ス其中ヨリ空氣(精氣)相分シテ天体ヲ形成シ次

ニ火体相分レテ天界ニアリ地ト水ニ相分レテ海陸アリ氏ハ太陽ハ天界中ニアル火元ヲ集メ之ヲ【163】反射スル鏡ナリ月ハ太陽ノ光線ヲ反射スル鏡ナリトノ古説ヲ持セリ

地ヨリ動植物分生セリト云フ説ニ至リテハ氏ハ全ク唯物主義ヲ唱ヘタルモノナリ氏ハ曰ク諸物質カ愛力ノ作用ニヨリテ結合シ漸ク進テ高等ニ成ルモノナリ

初時ハ地ヨリ分レタル物質相集リテ異形ヲ生シ動植物ノ形ヲ現スト感覺ノ如キ例ヘハ視感ノ如キハ眼ヨリ発スル所ノ火ト水トカ眼ニ向テ来ル所ノ光線ト相合シテ生スト云ヒ思想ノ如キモ身体ノ構造ヨリ生スト云フ而シテ血脈ハ思想ノ住スル地位ナリト云フ

此ノ如キ唯物論ヲ唱フルモ転生説ヲ唱ヘス又肉食ヲ禁スル等ノコトアラス【164】

Anaxagoras、生500頃 BC 死428 B.C.

一身ヲ理学ニ帰シ一身ノ財産ヲ傾タルニ至ル又数学者トシテ世ニ著ハル誰ニツイテ学ヒタルヤ不詳

氏ハ物ノ生滅ハ分解ト集合トニヨリテ成ル氏ハ万物ハ無数ニシテ最小ナルモノヨリ成リエムペードークル氏ノ地水火風ハ元素ニアラスシテ集合体ナリト云フ之レニ無形ノ能力(智力)(神ノ如キモノ)アリテ此諸元ヲ配置シ動かスモノナリ而シテ氏ハ物心ニ二元論者ナリ物ハ不純ニシテ集合体ナリ心ハ純粹ニシテ單純ナリ即チ宇宙ノ能力ヨリ分ルヽモノナリ

氏ノ論ハターレス氏ノ二元論ニ基クモノナリ【165】

世界ハ初ハ諸混和体ニシテ其中ニ回旋運動起リテ相分ル初メニ二塊トナリテ分ル其一ハ煖、乾、光、疎ノ性ヲ有スルナリ其二ハ寒、湿、暗、密ナルモノナリ

回転ニヨリテ密ナル方ハ中央ニ止マリ疎キ方ハ外辺ヲ形ル是レ輿地ノ中央ニ生シタル所以ナリ氏ハ輿地ハ平坦ナ

ル盆ノ如クシテ空中ニ浮クモノト信セリ天体諸星ノ輿地ヨリ回転ノ際投ケ出シタル石ヨリ成ルト云フ而シテ空中ニ燃焚スルモノナリト云フ月ハ地ノ如ク人ノ住居スル所トナシ太陽ハ一層大ナルモノニシテ月ト星トニ光ヲ与フルモノナリ地ハ其初ハ泥土ヨリ成リシモ日光ニヨリ乾キタルナリ

氏ノ論ハ元素論ノ起原ナリ唯、能力ヲ立テレハ【166】多元論者ニ異ナリ

分子論

Leucippus 及其門弟 Democritus (460頃ニ生ル)(九十年或百年以上ノ長寿ヲ得タリトナス不詳)或ハ曰ク

Parmenides ノ弟子ナリ年代不詳

デモクリタス氏ハ埃及、巴比倫(「バビロニア」)等ニ遊学セリト云フ

原子ノ理ハリユシパス氏之ヲ説キタル也其弟子テモ氏ニ至リテ広ク其理ヲ諸学上ニ通用セリ

リュシパス氏兼デモクリタス氏以為ラク物ハ全ク滅シ真ニ生スル理ナシ即チ無ヨリ有ヲ生スヘカラス有ヨリ生スヘカラスト云フ而シテ氏ハ有無共ニ有存スルコトヲ説ク即チ物質ト空処間ノ二者生存ヲ唱フ即チ有所無所ハ又全体無体ナリ而シテ又曰ク有体ノ方ハ無数ノ【167】分子ヨリ成ルト云フ其分子ハ最微ニシテ見ルヘカラス其一個一個互ニ離ル、ハ其間ニ空所存スルニヨル而シテ一分子自体ハ更ニ拆スヘカラス何者ハ其中ニ空所ヲ合ハセサレハナリ其体不生不滅同種質ノモノナリ唯、形状ト大小異ナルノミ其一変シテ他トナルヘカラス唯變化ハ場所ノ變更ノミ我々ガ物質上ニ變化ヲ見ルハ唯其場所ノ變化ヲ見ル也、スベテノ物ハ其分子ニ入レハ同質同種ノ物質ナリ故ニ事物ハ其形同大ナレハ皆同量ナラサルヘカル也然ルニ軽色アルハ其中ニ存スル空処ノ差異ニヨル

物ノ新ニ生スルハ離レタル分子集マルニアリ其滅スルト離散スルニヨル分子ト分子ト作用ハスベテ器械的ニシテ圧迫ヨリ成ル也其相離レタルモノ、真ニ相互作用セル流出離散ニヨリテナリ物形ノ千万異タルハ分子ノ形状大小位

置配置ノ無ナルニヨル「ベルファストアドレスノ四頁ヲ見ルベシ」〔On Tyndalls Belfast Address, 1874〕【168】

当時未タ重力ノ理法ヲ知ラサルヲ以テ諸分子ハ無始以來下降シテ動ク性ナリ而シテ大且ツ重キモノハ小且軽キモノヨリ一層速カニ下降スルヲ以テ互ニ衝突激動スル也然ルハ其小ナルモノ上ニ昇リ從テ回旋運動起ル斯クシテ同キ形状種類ノ分子一処ニ聚合シ形状ヲナス也運動ハ無始ナリ分子ハ無量ナリ空間ハ無涯也斯クシテ無量ノ世界ヲ決スル也我世界ハ其一種ナリ

地球ハ平円ニシテ盆ノ如ク空中ニ浮クモノナリト云フ天体中ニハ二塊本モ大ナリ日ト月ト空ナリ此有体ハ互ニ地球ノ周圍ニ回轉スルモノトナス

地水火風ノ四元ニツイテハデモクリタス氏ハ火ハ細小ナル円且ツ滑ナル分子ヨリ成ル他ノ三元ハ複合体ナリ

デモクリタスハ人類精神ノコトニ関シ殊ニ意ヲ用ヒテ説明ヲナセリ【169】

氏ハ曰ク諸生物ハ無生物質ヨリ成ル人間ノ精神ノ如キハ物質的ニシテ分子ヨリ成リ其分子ハ細、円、滑ノ体ナリ即チ火ト同種ノモノナリ火元人体中ニ涉リテ存ス呼吸ニヨリテ養ヘルナリ死スルトキハ其元素散出スルト云フ故ニ氏ハ曰ク空氣中ニハ心ノ元ナルヘキモノ存スルナリ感覺ハ物質ヨリ迸散セル也感覺器ニ触レテ此心元ハ相合スルヨリ生ス

物形等ハ之ヲ空氣ニ伝ヘ空氣ハ之ニ送リテ感覺器ニ及ホス

分子ニ感覺ノ方ニ特殊ノモノアリ外物ノ特殊分子ヲ感スル也

思想ハ精神中ノ一種ナリ

斯クデモ氏ハ唯物論ヲ唱ヘリ而シテ氏ハ決シテ懷疑ヲ唱ウルニアラス思想ハ道理ノ貴ムヘキヲ説キ又幸福ハ心性ノ平和ナル有様ニシテ幸福ノ一端ヲモ説ケリ【170】

デモクリタスノ神ニツイテノ説

当時宇宙間ニ衆多ノ神位スル云フル多神説行ハレシヲ以テ氏モ亦大氣中ニ人間ノ如キモノニシテ其大サト歩トノ一層勝レタル体アリト云ヒ其作用或ハ物ヲ利シ或ハ者ヲ実スルナリ其偶像ノ其体ヨリ放出セルモノ我醒時着ケル覺時ノ心中ニ入り来ルモノ神トナルト云フ

デ氏ノ門弟ニメトロドラスト名クルモノアリ

Metodorus 氏ハデ氏ノ唯物論ヨリ進テ稍懷疑ニ傾ケリ

デ氏ハ其物質上ノ論ハ其師リユシパス師ト異ナルコトナシ唯、心理上ニ及ホシテ説明シタルハデ氏ノ所見ナリ

【171】

㊦ 詭弁学ヲ見ルヘシ(次ノ頁) Sophisticism (Sophism) 詭弁トハ誤リアル論ヲ巧ニ造リナシテ誤ナキ様ニ見セルモノヲ云フ

其初現ハプロタゴラス氏ナリ紀元前四百八十年ニ生ル四十年間希臘地方ヲ遊歴シ就中アゼンスニ止マリテ哲学ヲ教授セシモ遂ニ無神論者タル攻撃ニ遇ヒアゼンス市ヲ去ラサルヲエサルニ至レリ(其書ハ長ラク焼カレタリ)七十歳ノ時シシリ島ニ遊ハントシテ途中溺死セリ其著書中一二ノ端本残ルノミ

氏ト同時代ニゴルジヤス氏ナルモノアリ紀元前四百九十年乃至四百八十年ニ生ルシシリニテ哲学教師トナル四
百二十七年以後アゼンス市并中央希臘諸市ヲ歴遊スセツサリー [Thesaly] 州ニ於テ死ス其寿百余歳以上ナリ

「言説文法并詭弁法ヲ教授シ謝礼報酬ヲ高ク取り貴属ノ人ニ雇ハレテ教授セリツマリ營業的ニ教授セリ報酬ヲ一定シテ營業的ニ教授セシハ詭弁者ヲ始メトス」

以上両氏ニ少シ後シテソクラチスト同時代 Prodicus & Hippias 【172】ノ二人アリ

プロタゴラス氏ノ説ニヨルニ人ハ諸事物ヲ測ル尺度ナリ故ニ真理ハ客觀的ニ存セスシテ主觀的ニ存スル也外物ハ常ニ變化シテ定リナク我感覺モ真トスルニ足ラス

ゴルシヤス氏ハゼノー氏ノ論弁学ヲ基礎トシ一物トシテ真ニ存在スルモノナシ、真ニ存スルモノ我人之ヲ知ル能サル又我人之ヲ知ルモ之人ニ伝フルコト能ズ

詭弁学者中ノ大半ハ客觀的真理ヲ排スルニアリ又普段一般ノ真理ヲ排シ主觀的人々個々各別ノ真理アルノミト云フ

○宗教并道德ニ関シテハ

プロタゴラス曰ク神ニツイテハ一モ知ルコトヲ得ヘカラス神ハ果シテ存スルカ等ハ知ルヘカラス何者神其物ノ曖昧不明ナルノミナラス【173】人間ノ生命短クシテ之ヲ知ルコト能ハス又氏ハ主觀的ヲ取りテ客觀ヲ排セシヲ以テ一般ノ理法規律ノ如キモノ自然ニ有スルニアラス唯人ノ思想ヲ想定スルニ過キスト論スルヲ以テ過去ノ規律ノ善惡ノ標準ノ如キヲ客觀的一定ナルニアラス人ノ便宜ニヨリテ憶定スルニ外ナラスト云フ 詭弁学派中プロタゴラス氏ハ或ハ神ニツイテ其果シテ存スルヤ等ハ想ルヘカラストフロジカス氏ハ神ハ天体或ハ地ノ元素（風水火）其他有要ノ物ヲ人化シタルモノナリ又ハペルソニフイテーシヨン

斯クシテ宇宙ノ問題漸ク人智人心道德ノ上ニ及ホセリ是レソクラチス氏ノ学ノ起ル所以ナリ故ニ詭弁学ハソ氏ノ学ヲ起ス源ナリ

「△或ハ詭弁ノ徳ハ神ノ如キハ人ヲ善ニ導ケリ方便トシテ工夫シタルモノトス我邦今日ノ説是ナリ」

㊦ 前頁ニ入ルヘキノ脱アリ

前学派ト詭弁学ノ關係【174】

前学期ハ客観上ニ真理ヲ考定シ真理ハ客観上ニ存スルモノト想定セリ然ルニ詭弁ニテハ主観ヲ取りテ客観ヲ排セリ此主観論ハ前学派中ニ胚胎セリ

エリヤ学派ノゼノ主観論ヲ唱フ

ヘラクリタスハ客観界ノ事物ノ変化シテ止ラサルヲ見テ変化ノ説ヲ論セリ是レプロタゴラス氏ノ説ノ起ル所以ナリ

アナキサゴラス氏ハ客観ト主観トヲ較シテ無形ノ神力能力ヲ本源ト立テ之ヲ以テ客観界ノ事物ヨリ一層高等トナセシハ主観論ヲ起スノ原因トナセリ

【175】〜【178】は空白

〔裏表紙裏〕

〔裏表紙〕

【前号訂正】本誌第二七号

九八ページ左から六行目「以太利現ニ起ル」↓「以太利ニ起ル」

九九ページ右から五行目「第二ノ推理力」↓「第二ハ推理力」

一〇一ページ中頃「具曰ク人ノ心ニ」↓「且ツ曰ク人ノ心ニ」

一〇八ページ左から七行目「ソフィスト」ノ名クル」↓「ソフィスト」ト名クル」

一二三ページ右から七行目「真理ニ帰セシタル」↓「真理ニ帰セシムル」

- 一三三ページ左から三行目「愈ノ高等ノ体」↓「愈々高等ノ体」
一二四ページ右から三行目「物質ナリトシリ」↓「物質ナリト云フ」
一二四ページ右から七行目「此学派ノ切ナリ」↓「此学派ノ功ナリ」